molten®
From the Inside Out

離床支援型ベッド

TRUTH -II

Life design Bed

取扱説明書

安全にご使用いただくために

必ず医師や看護師などの専門員とご相談の上ご使用ください。

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後もいつでも見られる場所に大切に保管してください。ご本人の健康状態や床ずれが変化した場合には医師や看護師などの専門員に相談し、適切な処置を受けてください。

安全上のご注意 必ずお守りください

●ご本人や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
取扱説明書に表示されている記号および言葉は、表示内容を無視した誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分で表しています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性がある場合。

⚠ 注意：障害を負う可能性または物的損害を発生させる可能性がある場合。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より快適にご使用いただくためのアドバイスが書かれていることを意味します。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分して表しています。

⃠ この絵表示は、してはいけない「禁止」の意味です。

(!) この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の意味です。

目　次

○注意事項・・・

注意事項

ご使用の前に説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後もいつでも見られる場所に大切に保管してください。
ご本人の健康状態や体調が変化した場合には、医師や看護師などの専門員に相談し、適切な処置を受けてください。

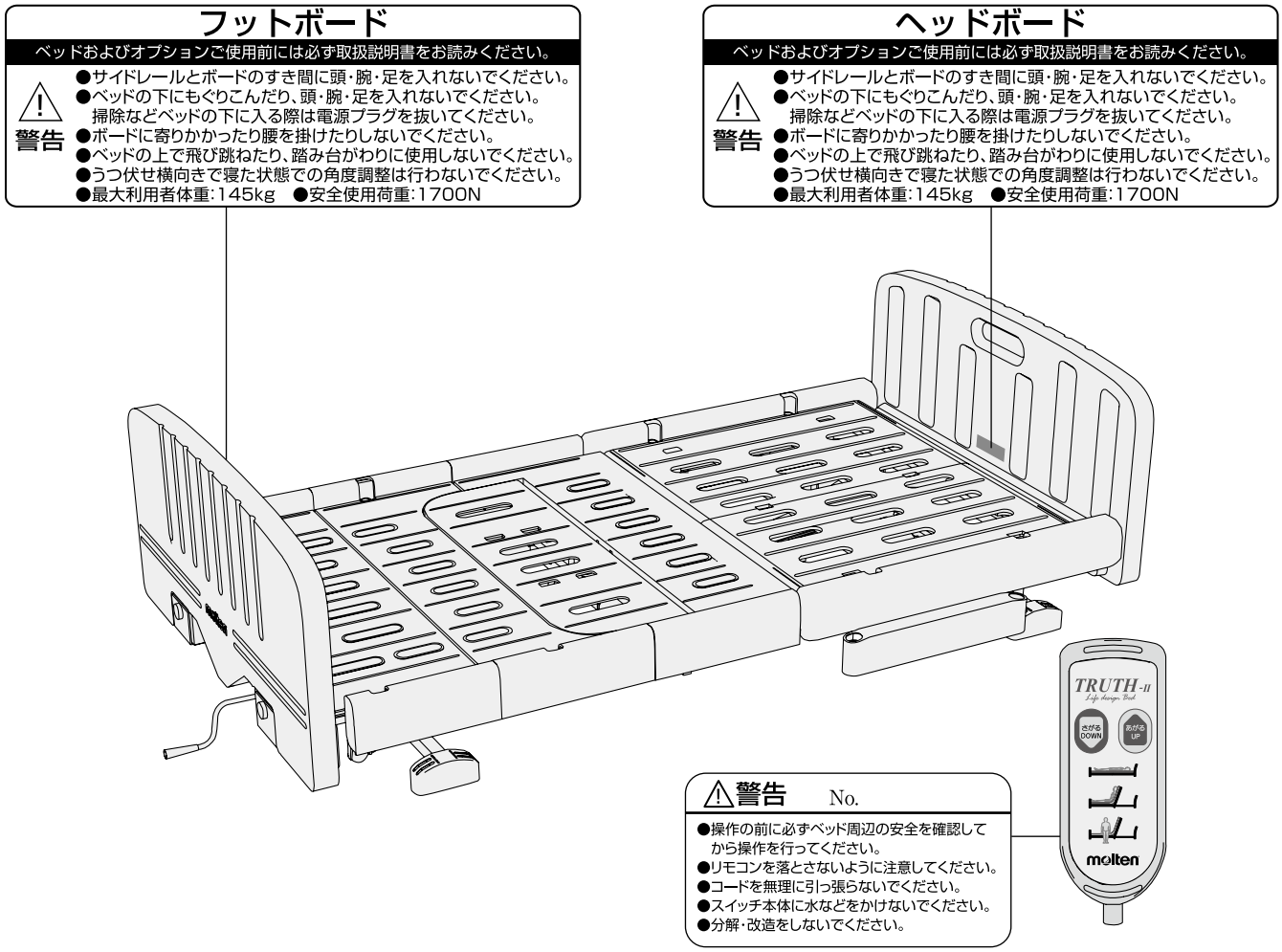
●ご本人や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
取扱説明書に表示されている記号および言葉は、表示内容を無視した誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分で表しています。

⚠ **警告：死亡または重傷などを負う可能性がある場合。**

⚠ **注意：障害を負う可能性または物的損害を発生させる可能性がある場合。**

注意：本機の故障を防止するための注意事項や、より快適にご使用していただくための アドバイスが書かれていることを意味します。

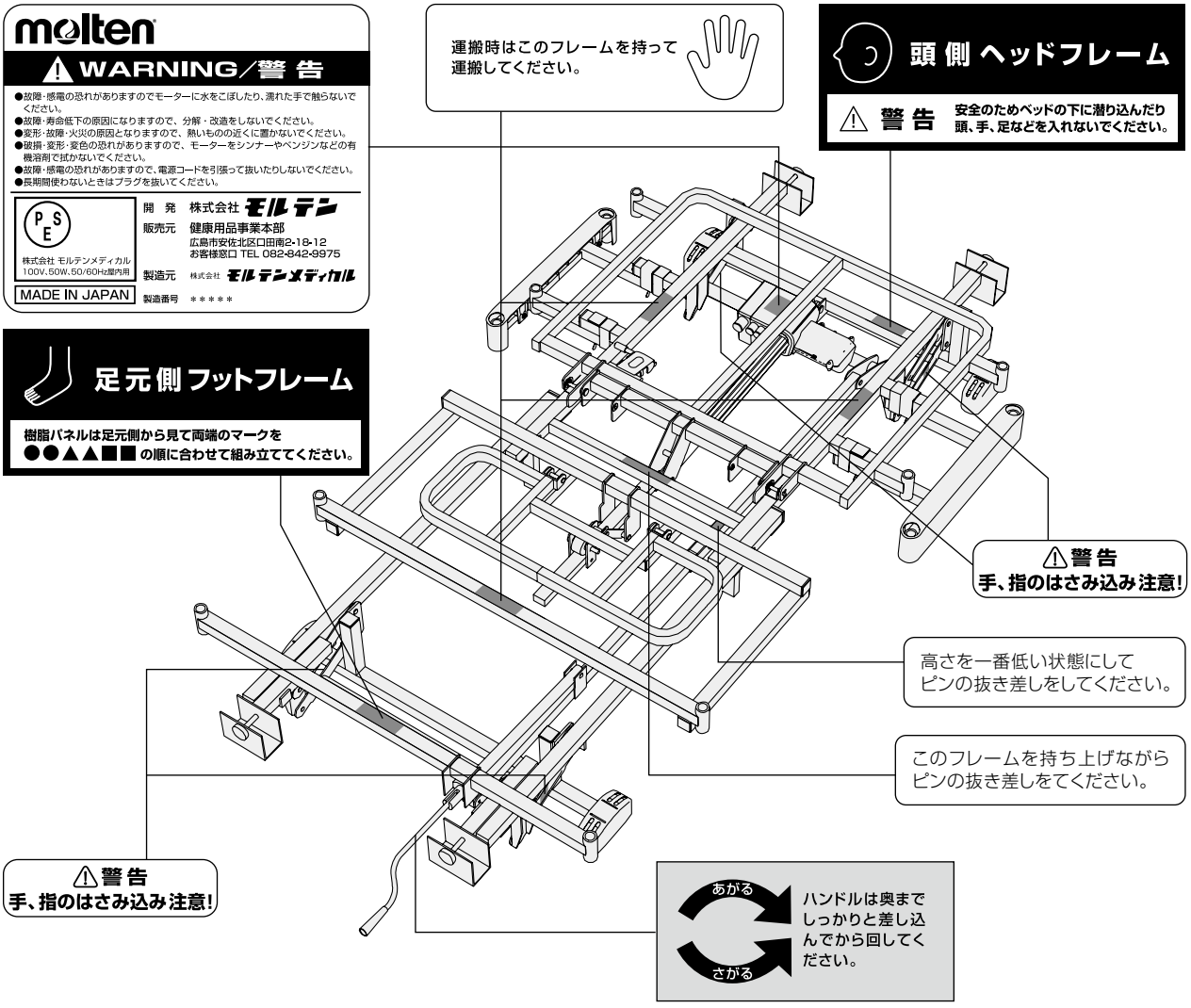
●注意シール位置（図は1モーター+α機能）



●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分して表しています。

⃠ この絵表示は、してはいけない「禁止」の意味です。

(!) この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の意味です。



⚠ 警告

●転落・転倒の恐れがある方は安全のためサイドレールをご使用ください。
転落・転倒の恐れがある場合、必ずサイドレールや手すりをご使用ください。
それでもすき間から転落する可能性がある場合は、ベッドを低くするか、クッション材を床面に敷いてください。
また、サイドレールや手すりのすき間に頭・腕・足などが入らないように注意してください。

●手すりやサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください。
サイドレールとサイドレールのすき間から落下したり、サイドレールの上から身を乗り出して落下し、ケガをする恐れがあります。
寝返り、起きあがり、立ちあがりは十分注意して行ってください。
それでもすき間から転落する可能性がある場合は、ベッドを低くするか、クッション材を床面に敷いてください。

●サイドレールのすき間に頭や首が入らないように十分注意してください。
サイドレールのすき間に頭や首が入らないようにしてください。
頭や首がすき間に入ると抜けなくなり、ケガをする恐れがあります。

●手すりの外には頭・腕・足などを出さないでください。
操作中にベッドの下に手をはさんだり、頭・腕・足などを手すりにはさみ、抜けなくなる危険があります。
特に体位を自分で保持できない方は十分注意してください。

●周辺機器とのすき間に十分注意してください。
壁際や機器周辺に設置する場合、それらとのすき間や周辺にある家具などとの距離（すき間）には十分注意してください。
（P13参照）

●ベッドは正しい向きでご使用ください。
ベッドの頭側、足元側を間違えて使用すると、背上げの場合、無理な姿勢となりケガをする恐れがあります。また、うつ伏せ・横向きで使用した状態での角度調節は行わないでください。関節を逆に曲げることになり、ケガをする恐れがあります。

●安全のため、ベッドの下に潜り込んだり、頭・腕・足などを入れないでください。
ベッドの可動部分やフレームなどの間にはさまれてケガや事故の原因となります。
また、ベッドを操作する方はベッドから頭・腕・足などが出ていないか、ベッドの下に人・物がないか、周りに障害物などがないかを確認して操作を行ってください。

●ベッド本体に取り付ける付属品と、スライド式サイドレール受けに取り付ける付属品を、同じ位置で同時に使用しないでください。
ベッド本体に取り付ける離床支援バーA・Bと、スライド式サイドレール受けに取り付けるウイングガード、サイドレールAは、同じ位置で同時に使用できません。

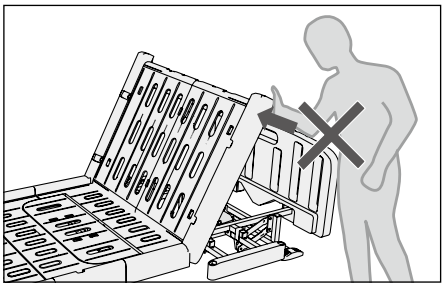
●離床支援バーを使用する場合は、スライド式サイドレール受けを取り外してください。
スライド式サイドレール受けを取り付けた状態では、離床支援バーの固定ネジをしめることができません。（P37参照）

●リモコン操作は操作を理解できる方が行ってください。
お子様や操作を理解できないと思われる方（認知症の方など）が一人でリモコンに触れる可能性がある場合には（介護する方が外出されるときなど）、電源プラグをその都度抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。
また、ベッドを操作する方および介護する方は必ず、リモコンの操作方法を理解した上でご使用ください。

●手すりは必ず固定してください。
手すりが固定されていないと、つかまったときに転倒・転落し、ケガをする恐れがありますので、しっかりと固定してください。

●ベッド操作中はベッドから頭・腕・足などを出さないでください。
ベッドの可動部やフレームなどにはさまれてケガや事故の原因となります。

●背上げしたときにヘッドパネルに寄りかからないでください。
背上げしたときにヘッドパネルに寄りかかると、
ヘッドパネルが外れる恐れがあります。



注意事項

⚠ 警告

●掃除などベッドの下に入る場合には電源プラグを抜いてください。
リモコンの誤操作などによりケガをする恐れがあります。

●ベッドの上に立ちあがったり、踏み台がわりに使用しないでください。
ベッドから落下、または転倒してケガをする恐れがあります。

●ベッドの上で飛び跳ねないでください。
ベッドの上で飛び跳ねるとケガや故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。
また、背上げ中に飛び跳ねた衝撃で緊急停止することがあります。

●電源プラグは持って抜いてください。
電源コードのみを持って引き抜くと、コードが傷んで感電する恐れがあります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
ショートして感電・故障の恐れがあります。

●電源プラグにホコリを付着させないでください。
電源プラグの表面にホコリが付着している場合には、乾いた布などでよく拭き取ってください。
電源プラグの表面にホコリが付着していると、発火する恐れがあります。

●電源コード類をフレームなどにはさまないように注意してください。
コードが傷むことで漏電し、感電する恐れがあります。またコードが断線し、ベッドが動かなくなる恐れがあります。

●水などをこぼさないでください。
アクチュエーターやリモコンに、水やジュースなどの液体をこぼさないでください。
液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

●お客様による修理・改造はしないでください。
故障や異常動作の原因となり、ケガをする恐れがあります。

●本来の目的以外に使用しないでください。
本来の目的以外に使用すると、ベッドの破損や思わぬケガをする恐れがあります。

●本製品は日本国内専用です。
海外では使用できません。

⚠ 警告

電源タップ（サービスコンセント）のお取り扱いについて（2モーター）

●当社指定の物以外は使用しないでください。

●合計1500W以下で使用してください。

●ぬれた手で触ったり、水のかかるところでは使用しないでください。

●ホコリや湿気の多いところでは、プラグを長期間差し込んだままにしないでください。
定期的にプラグ面や差し込み刃面の掃除をしてください。

●湿度や湿気の高い場所（暖房器具、加湿器など）では絶対に使用しないでください。

●洗剤や殺虫剤などはかけないでください。

●医療機器は接続しないでください。

⚠ 注意

●二人以上で使用しないでください。
ベッドは一人用の設計になっています。二人以上で使用すると、ケガやベッドの破損の恐れがあります。

●最大利用者体重を守ってください。
最大利用者体重（145kg）を超えて使用すると、ケガやベッドの破損の恐れがあります。

●背上げしているボトムに立ちあがったり座ったりしないでください。
背上げの支持部に大きな力がかかり、変形、破損、故障の原因となります。

●ヘッド・フットボードは必ずノブ付きボルトで固定してください。
ノブ付きボルトをしめ、しっかり固定してください。
ボードの取り付けが不完全な場合、不意に外れ、転倒などによるケガの恐れがあります。

●リモコンを傷つけないでください。
ショートによる感電や誤動作の恐れがあります。

●リモコンは所定の位置に置いてください。
ベッド上に置くと肘や手などで押してしまい、誤動作を招く恐れがあります。

●長期間使わないときは電源プラグを抜いてください。
長期間ご使用にならないときは誤動作などを防ぐため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●有機溶剤やスプレータイプの殺虫剤などをベッドに直接噴射しないでください。
シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や殺虫剤に含まれる溶剤によってベッドが破損・変色・溶解する恐れがあります。
また、破損・溶解した部分で思わぬケガをする恐れがあります。

●指定以外の製品とは組み合わせないでください。
指定以外の製品（手すり・サイドレールなど）と組み合わせると、体がはさまれケガをしたり、ベッドに負担をかけ故障の原因となることがありますので指定製品以外は使用しないでください。

●治療中の方は医師に相談してください。
現在治療中の方は、ベッドの操作が症状を悪化させる可能性があります。
ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

●ベッドの脇や下、またベッド周辺の動作範囲には物を置かないでください。
ベッドの下に物をはさんだ場合、ベッドの破損や使用者の転倒、転落の危険があります。
また、ベッドの背上げ、背下げまたは高さ調整を行う場合には、点滴のスタンドやチューブ、その他医療機器など周りの物に注意しながら操作を行ってください。

●手すりにぶつからないように注意してください。
体位変換など介助する場合やベッドの近くにいるときは、手すりにぶつからないように注意してください。
手すりは金属製のため、強くぶつかると打撲の恐れがあります。

●手すりに座らないでください。
手すりにぶら下がったり腰掛けると、転倒やケガの恐れがあります。

●必ずマットレス（エアマットレスなどを含む）をご使用ください。
また、マットレスの設置に注意してください。
マットレスやエアマットレスがベッドの向きと合っているか、また、マットレスの使用方法が適切であるか確認してください。

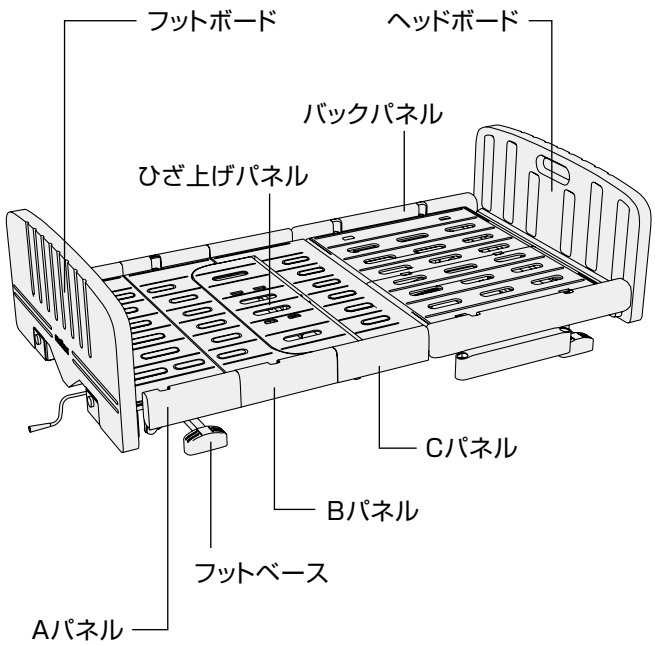
●緊急時には、ベッドを水平な状態へもどしてください。
停電や、背上げ中ベッドが急に止まった場合には、ベッドを水平な状態へ戻してください。（P32参照）

●定期点検を行ってください。
長く、安全にご使用いただくために、定期点検を行ってください。（P25参照）
万一、破損やガタつきなどがひどい場合には、直ちに使用をやめて販売店にご連絡ください。

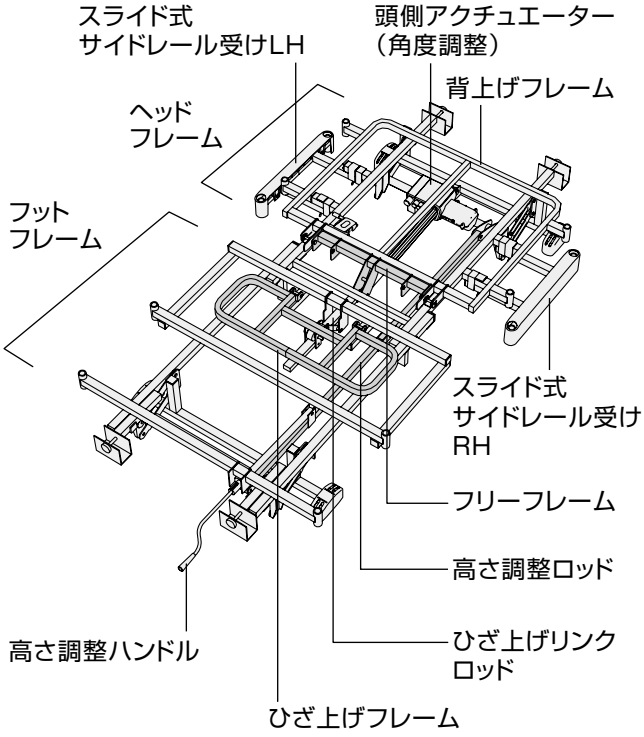
●スライド式サイドレール受けを持ってベッドを移動させないでください。
指定の位置を持って移動させてください。

1モーター+α機能

●ベッド&パネル

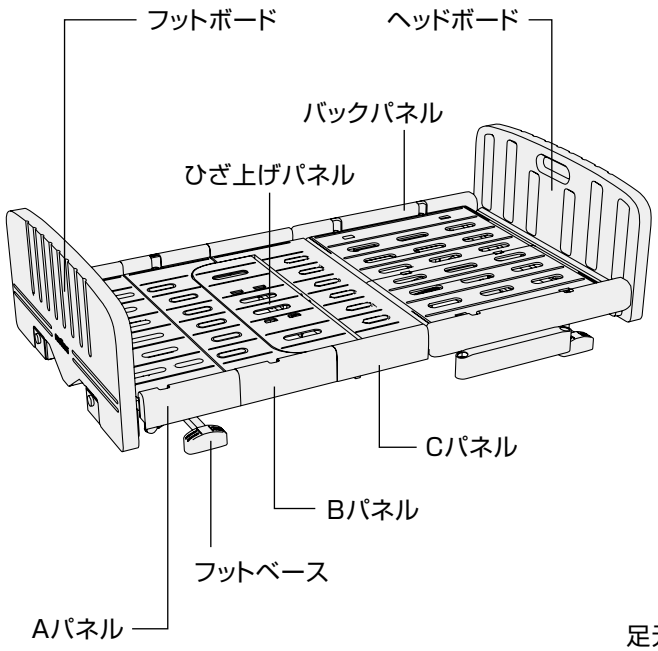


●フレーム

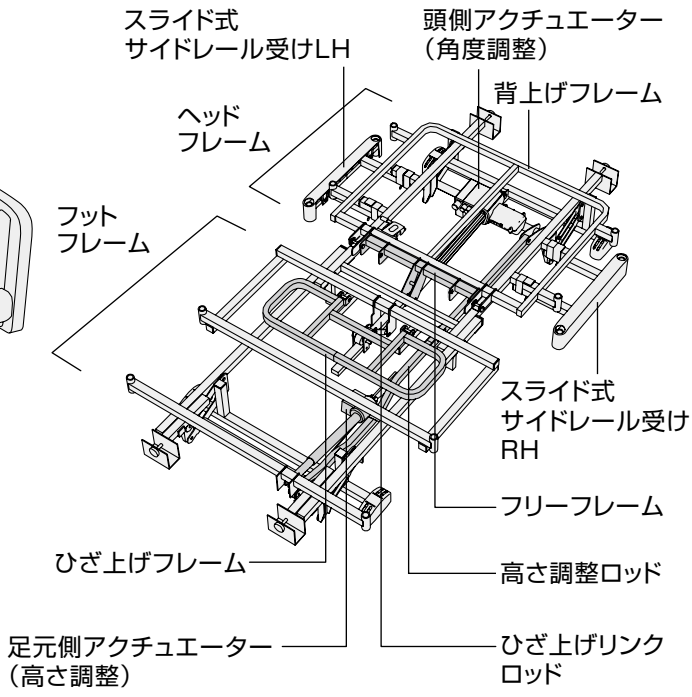


2モーター

●ベッド&パネル



●フレーム



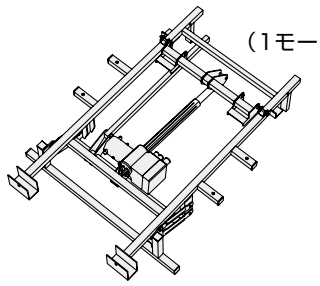
梱包形態

●梱包内容

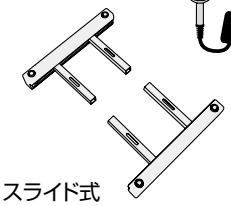
記載部品が全て揃っているか、また破損・変形などしていないか確認してください。
万が一、部品の不足・破損があった場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

1モーター+α機能

ヘッドフレームセット　約28kg


ヘッドフレーム:1ヶ

リモコン
(1モーター+α機能用):
1ヶ

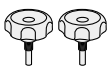

スライド式
サイドレール受け:2ヶ

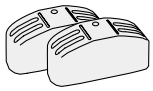
ハンガーフック
:4ヶ

L型金具
:4ヶ

ストッパープレート
:4ヶ

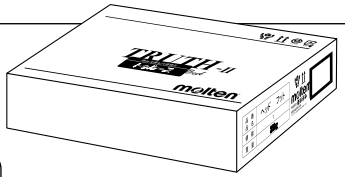
蝶ナット:4ヶ


ノブ付きボルト:2ヶ

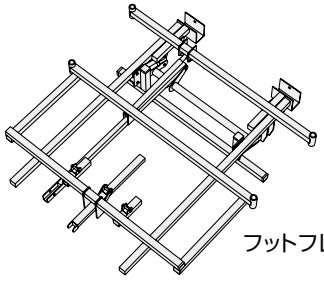

フットベース:2ヶ

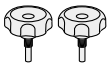
樹脂クリップ:2ヶ

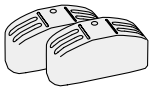
取扱説明書:1部



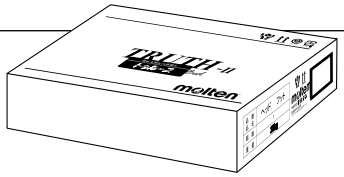
フットフレームセット　約33kg


フットフレーム:1ヶ

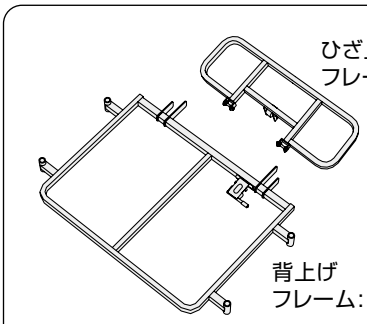

ノブ付きボルト:2ヶ


フットベース:2ヶ

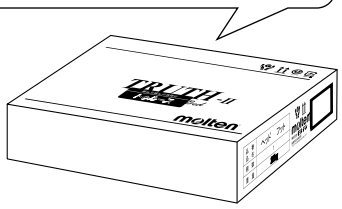
樹脂クリップ:2ヶ



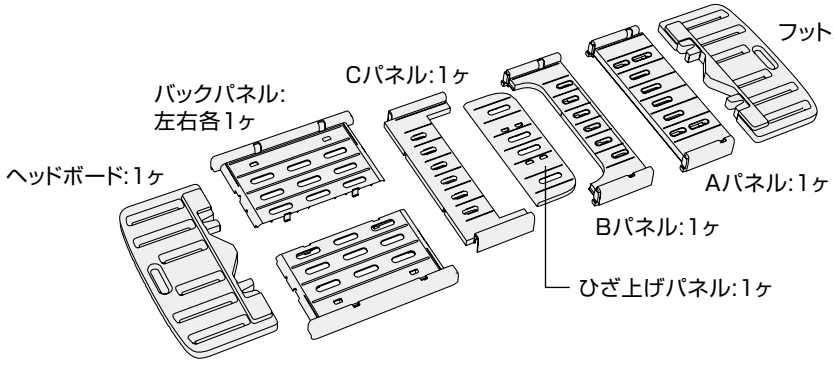
フレームパーツセット　約12kg

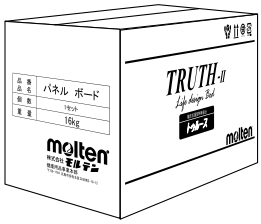

ひざ上げ
フレーム:1ヶ

背上げ
フレーム:1ヶ



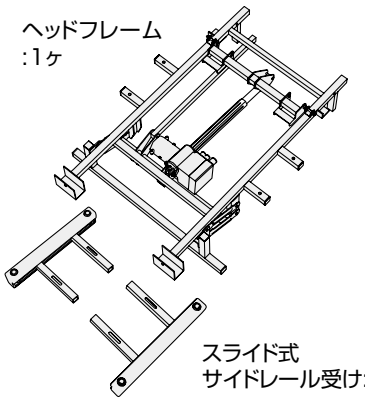
パネル・ボードセット　約16kg


フットボード:1ヶ
Cパネル:1ヶ
バックパネル:
左右各1ヶ
ヘッドボード:1ヶ
Aパネル:1ヶ
Bパネル:1ヶ
ひざ上げパネル:1ヶ



2モーター

ヘッドフレームセット　約28kg

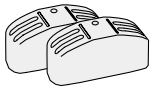


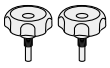
ハンガーフック
:4ヶ

L型金具
:4ヶ

ストッパー
プレート:4ヶ

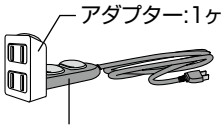
蝶ナット:4ヶ


フットベース:2ヶ

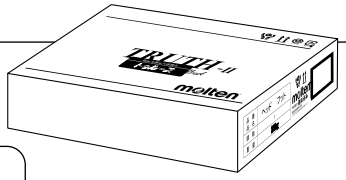

ノブ付きボルト:2ヶ

樹脂クリップ:2ヶ

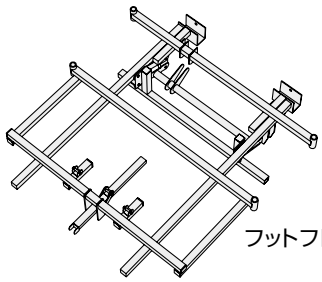
リモコン(2モーター用):
1ヶ

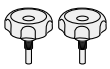

アダプター:1ヶ
電源タップ:1ヶ

取扱説明書:1部



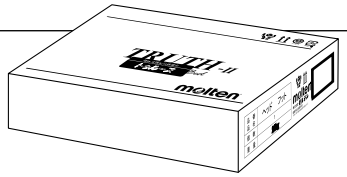
フットフレームセット　約31kg


フットフレーム:1ヶ

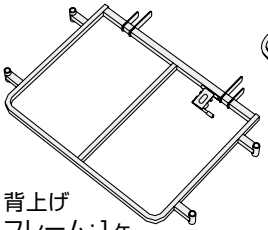

ノブ付きボルト:2ヶ

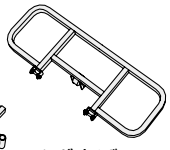
樹脂クリップ:2ヶ

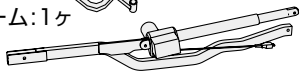
フットベース:2ヶ

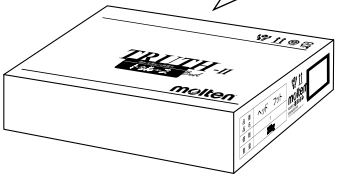


フレームパーツセット　約18kg

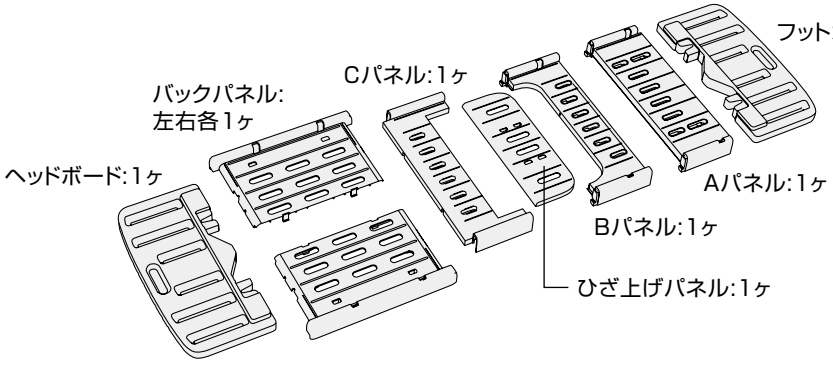

背上げ
フレーム:1ヶ

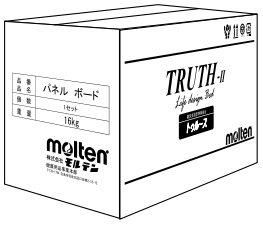

ひざ上げ
フレーム:1ヶ


足元側アクチュエーター
(高さ調整):1ヶ



パネル・ボードセット　約16kg





JIS規格認証の安全対策

●すき間によるはさみ込み事故の対策

①すき間を小さくした事故対策

ベッドと付属品の組み合わせによって生じるさまざまな【すき間】を小さくすることで、首や頭のはさみ込み事故を対策しています。

②すき間を大きくした事故対策

ベッドと付属品の組み合わせによって生じる【すき間】を大きくすることで、万が一首や頭が入り込んでも、簡単に抜け出せるように対策しています。

更なる安全対策

●ベッド背上げ時のはさみ込み事故の対策

①サイドレール形状による事故対策

腕が入る可能性のあるサイドレールAの格子形状を横長にすることで、万が一腕を入れた状態でベッドの背上げをしても腕を逃がし、骨折などの事故を対策しています。

②サイドレール・手すりの背ボトム一体構造による事故対策

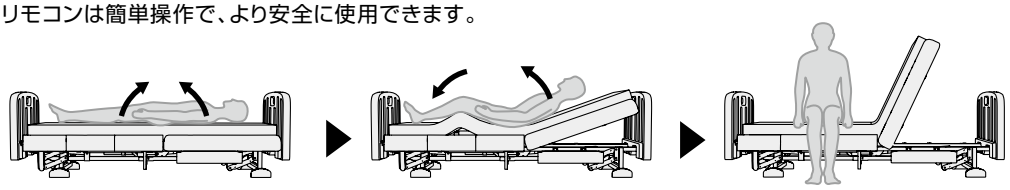
サイドレールや手すりが背ボトムと連動して動く構造にすることで、ベッド背上げ時の腕のはさみ込み事故の対策をしています。

アクティブセーフティモード

●電動式ひざ上げ&背上げ・ひざ下げ連動機能

PAT.P.

【ひざ上げ】−【背上げ】−【ひざ下げ】が連動し、ボタンひとつで安全なベッド操作ができます。
リモコンは簡単操作で、より安全に使用できます。



ひざと背が一緒に上がり始めます。

ある程度背が上がるとひざが下がり始めます。

背が完全に上がるとひざ部分は完全に下がります。

簡単操作リモコン

●ASモードが可能にする3つの効果

①姿勢の崩れを防ぎます。

【ひざ上げ】−【背上げ】−【ひざ下げ】連動した動きは、体が前方向に移動して姿勢が崩れるのを低減します。

②優しく体を起こします。

【ひざ上げ】−【背上げ】−【ひざ下げ】連動した動きは、ベッド背上げ時、背中やおしりにかかる力（圧）が低減され、楽な姿勢になります。

③立ちあがり動作をサポートします。

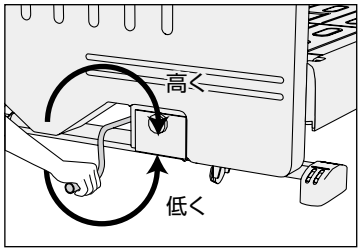
背上げが完了するとひざが下がり、ベッド座面が平らになることで端座位を取りやすくしています。また、リハビリ回復期の端座位の食事にも有効です。

離床頻度の多い人に実用的な機能（1モーター+α機能）

●手動式無段階高さ調整機能

ベッドの高さ調整機能は、立ちあがりや移乗時に最適なベッド高さにするための機能ですが、離床頻度の多い人にとっては、常に立ちあがりやすいベッド高さに固定されているほうが実用的です。
（離床のたびに毎回ベッドの上げ下げはしないという意味）

トゥルース-Ⅱ（1モーター+α機能）のベッド高さ調整には、ご本人が立ちあがりやすい高さにあらかじめ設定するための機能として、手動式での無段階の高さ調整を採用しています。



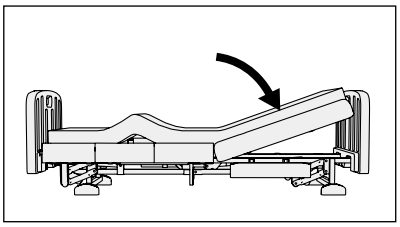
2モーター仕様は電動式高さ調整です。

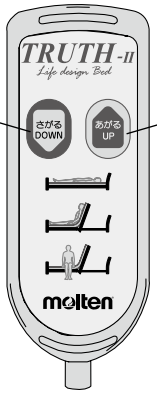
1モーター+α機能

●角度調整(リモコン操作)

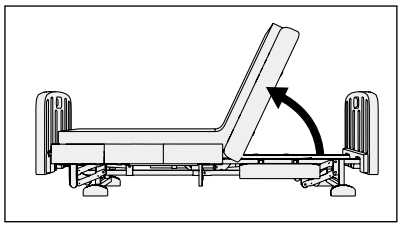
リモコンによりベッドの背上げ･ひざ上げの角度が無段階で調整できます。(ひざ上げは背上げと連動して動きます。)
『あがる』『さがる』のボタンを押すと角度が変化し、離すとその位置で止まります。

『さがる』
押している間、背上げ･ひざ上げ部が
下がっていきます。





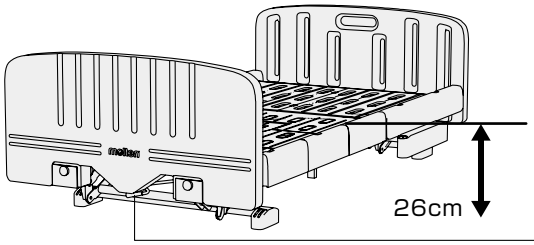
『あがる』
押している間、背上げ･ひざ上げ部が
上がっていきます。



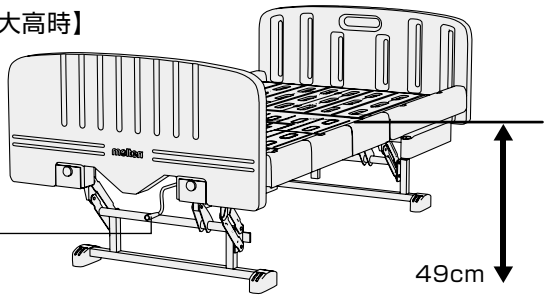
●手動式高さ調整

足元側にあるハンドルを取り出し、しっかり奥まで差し込みハンドルを回してください。(P21参照)
右に回すとベッドが高くなり、左に回すと低くなります。
高さ調整は、床からボトム面の高さが約26cm～約49cmまで調整できます。
(目安としてハンドル1回転で約1cm上昇･下降します) 調整後、ハンドルはベッドの下に収納してください。

【最低高時】



【最大高時】



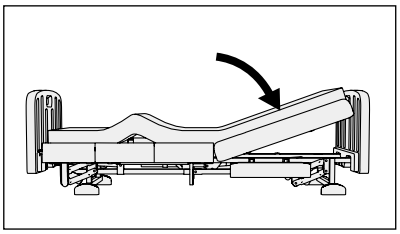
> ⚠ 警告
> ●ベッドの高さ調整時、ベッドは頭側に動きます。頭側には25cm以上のスペースを確保してください。
> ●ハンドルは調整後、ベッドの下に収納してください。

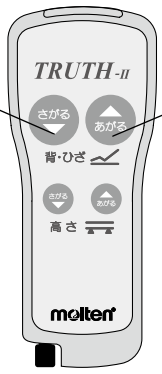
2モーター

●角度調整(リモコン操作)

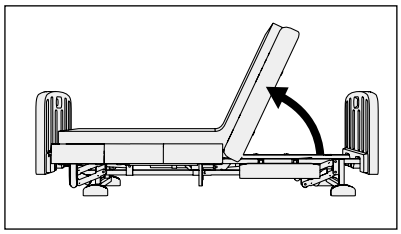
リモコンによりベッドの背上げ･ひざ上げの角度が無段階で調整できます。(ひざ上げは背上げと連動して動きます。)
『あがる』『さがる』のボタンを押すと角度が変化し、離すとその位置で止まります。

『さがる』
押している間、背上げ･ひざ上げ部が
下がっていきます。





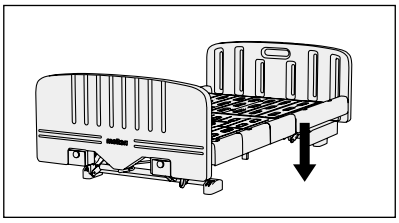
『あがる』
押している間、背上げ･ひざ上げ部が
上がっていきます。

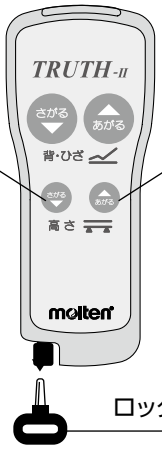


●高さ調整(リモコン操作)

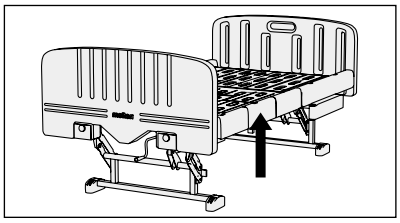
リモコンによりベッドの高さが無段階で調整できます。
「あがる」「さがる」のボタンを押すと高さが変化し、離すとその位置で止まります。

『さがる』
押している間、ベッド高さが
下がっていきます。





『あがる』
押している間、ベッド高さが
上がっていきます。



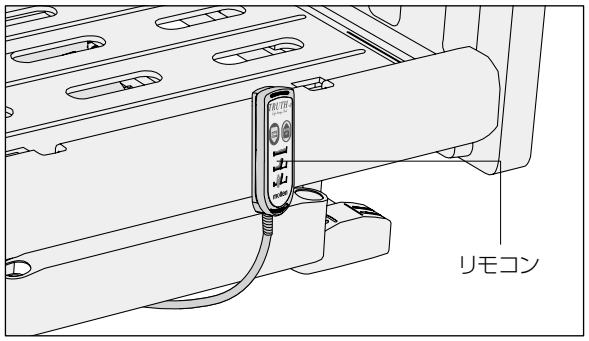
ロックキーを抜くと高さ調整ができなくなります。

⚠ 警告 ●ベッドの高さ調整時、ベッドは頭側に動きます。頭側には25cm以上のスペースを確保してください。

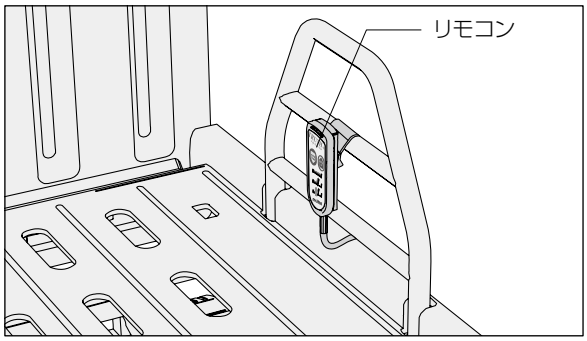
●リモコン設置位置

リモコンは所定の位置に置いてください。
トゥルース専用手すりがある場合は、トゥルース専用手すりに取り付けてください。

【手すりがない場合】



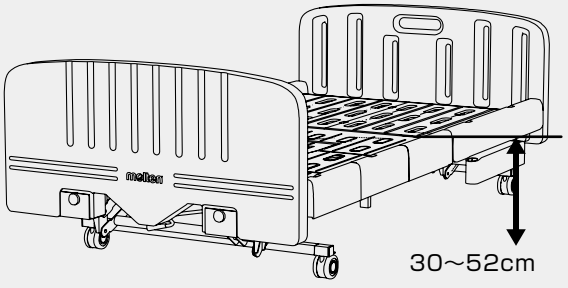
【手すりがある場合】



⚠ 警告
- ●リモコン操作は操作が理解できる方が行ってください。
- ●リモコンは所定の位置に置いてください。
- ●背上げ連続操作可能時間は約3分です。
  (連続でリモコン操作を行う場合、20分の休止時間が必要です。)
- ●2つのボタンを同時に押すと安全のため動きません。

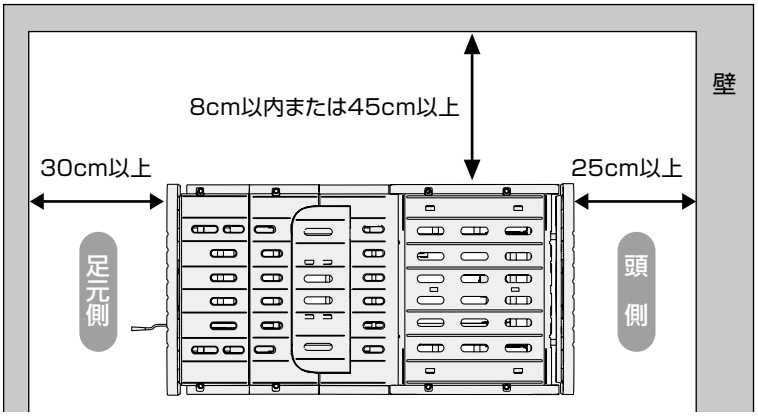
●キャスター(別売)使用時の高さ　ボトム高さ30～52cm　※キャスターは別売です。

床・畳のキズやへこみの防止に、エフプロテクター(別売)をご使用ください。
品番　MFP-BE(ベージュ)／MFP-GR(グレー)
●サイズ：直径20×厚さ0.8cm
●素　材：オレフィン系エラストマー
品番　MFPC-BR(カーペット)
●サイズ：直径18×厚さ0.7cm
●素　材：PP繊維



●設置条件

ベッドを設置する場合は、下記の条件を考慮して設置してください。



頭　側

壁とヘッドボードとの距離を25cm以上離してください。高さを最低高から最大高まで上げると、約10cm頭側に動きます。

足元側

壁とフットボードとの距離を30cm以上離してください。30cm以上離さないと高さ調整ハンドルが回せなくなります。

> ⚠ **注意**
> ●一度組み立ててしまうと、部屋の中での移動や、向きの変更をすることが困難な場合があります。
> ●障害物には十分注意して設置してください。

●ベッドの周辺スペースを確保してください。

ご本人が乗り降りしやすいスペースがあるか、車いすをご使用の場合はベッドのどちら側で使用するのか、介護する方が介護を行うスペースは十分確保できるかなどを考慮してください。
また、高さを上げた場合や、背上げを行うとベッド本体の高さが高くなるので、周辺機器、家具、構造物などに当たらないように十分確認してください。

●周辺機器とのすき間を確認してください。

壁際や機器周辺に設置する場合、それらとのすき間や周辺にある家具などとの距離（すき間）を確認してください。
仮にご本人がそのすき間に転倒、転落した場合でもはさまれない位置に設置してください。また、ご本人の身体状況により転倒、転落の可能性がある場合はご使用をおやめいただくか、必ず介護者の付き添いのもと、ご使用ください。

●水平な床面を選んでください。

●ベッドの重量は約68kg（1モーター＋α機能）・約72kg（2モーター）です。

ベッドとご本人、付属品、寝具などの重量も全て合計した重量が床面にかかります。
この重量に十分耐えられる場所をお選びください。

●電源プラグが抜き差ししやすいところへ設置してください。

誤動作防止のため、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。

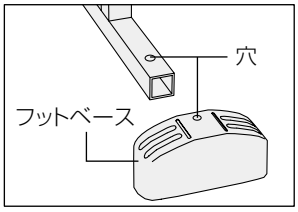
●電源は直接コンセントからとってください。

コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続したり、たこ足配線などを行うと、電源コードや電源プラグが発熱する恐れがあります。

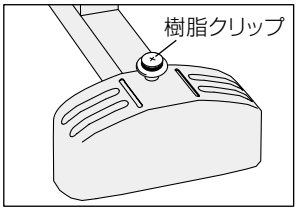
●冷暖房機などの冷気・暖気がベッドに直接当たらないようにしてください。

※組み立て作業は販売店の方に依頼されることをお勧めいたします。

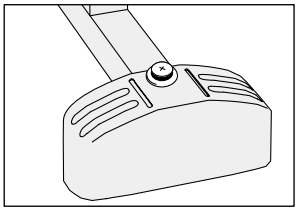
1　フットベースの取り付け



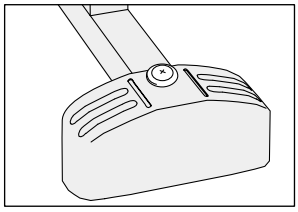
フレームの4ヶ所の足にフットベースをしっかり奥まで差し込みます。



フットベースとフレームの穴位置を合わせて樹脂クリップを差し込みます。



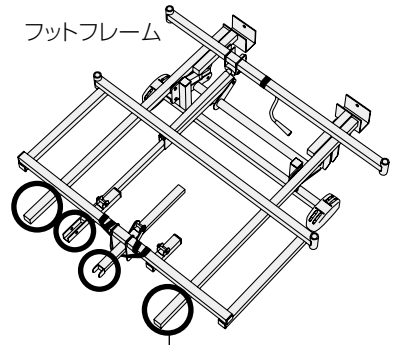
樹脂クリップの外側だけをしっかり差し込みます。

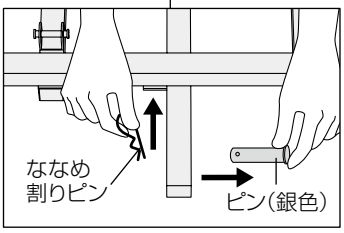


樹脂クリップの真ん中を押し込んだら取り付け完了です。（4ヶ所）

キャスターを取り付ける場合は、この時点で取り付けてください。
キャスターの取り付け方法はキャスターセット取扱説明書を参照してください。

2　フットフレームのピン取り外し



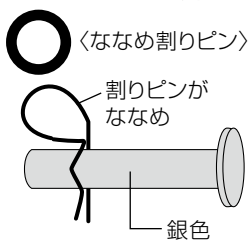


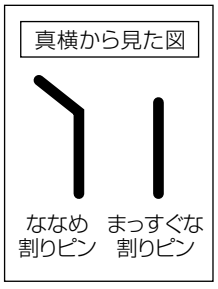
段ボールからヘッドフレーム、フットフレームを取り出してください。
フットフレームの左図の位置4ヶ所についているななめ割りピンとピンを外してください。

※この時外すピンは銀色です。割りピンはななめになっています。

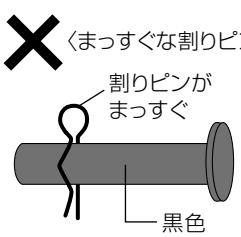
注意　●組み立て時に使用するピンは銀色で割りピンがななめになっています。これ以外の黒いピンは外さないでください。

▼こちらのピンを外します。

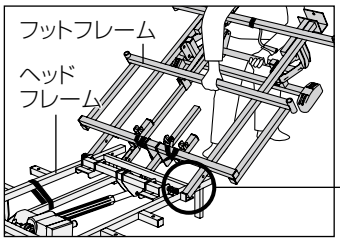


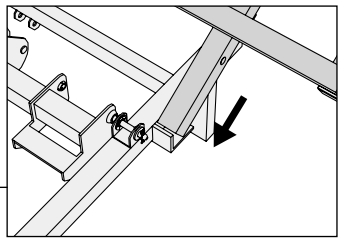


▼外さないでください。

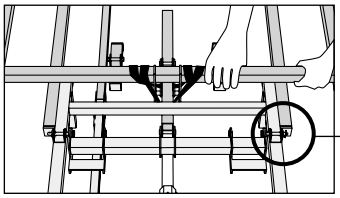


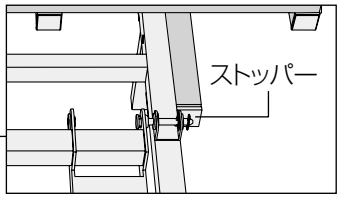
3　ヘッドフレームとフットフレームの接続



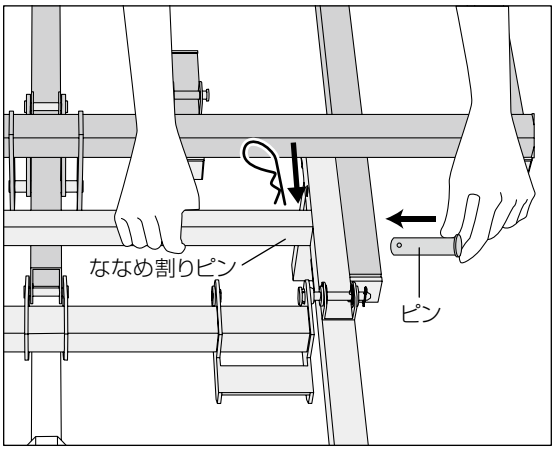


床に置いたヘッドフレームに、フットフレームを上から置くように設置してください。
左図の手の位置を持ち、倒しながら設置してください。





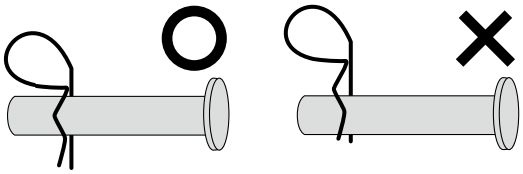
ストッパーがある位置まで差し込んでください。



フレームを持ち上げながら、2 で外したピンを差し込み、ななめ割りピンで固定します。

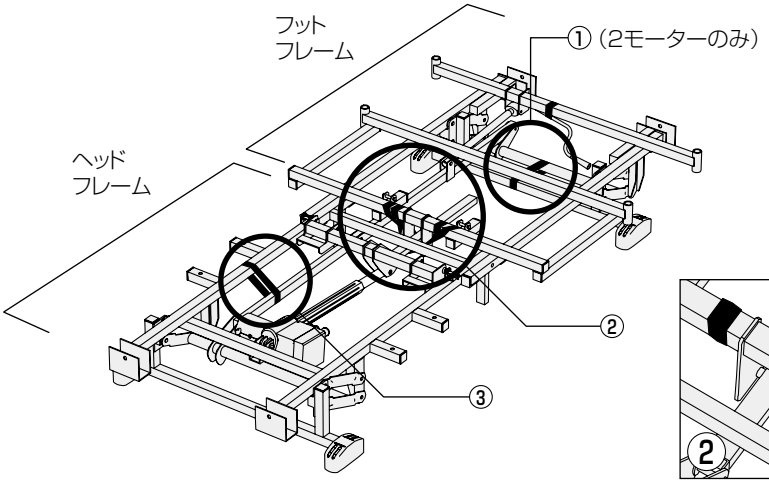
●割りピンの差し込みについて

下のイラストのように奥まで割りピンを差し込んでください。
ご使用中にピンが外れケガをする恐れがあります。

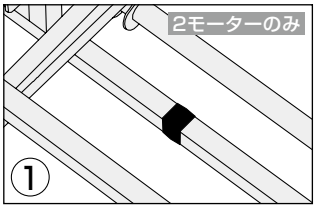


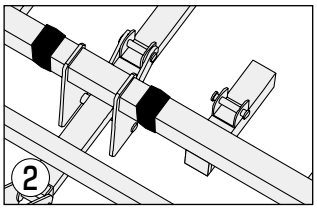
4 固定バンドの取り外し

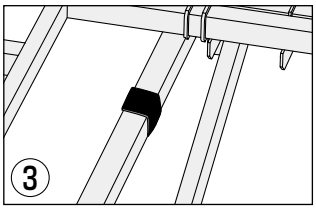
フレームを固定しているフレーム固定バンドを外してください。
外したフレーム固定バンドは紛失防止のため、フレームに巻きつけてください。



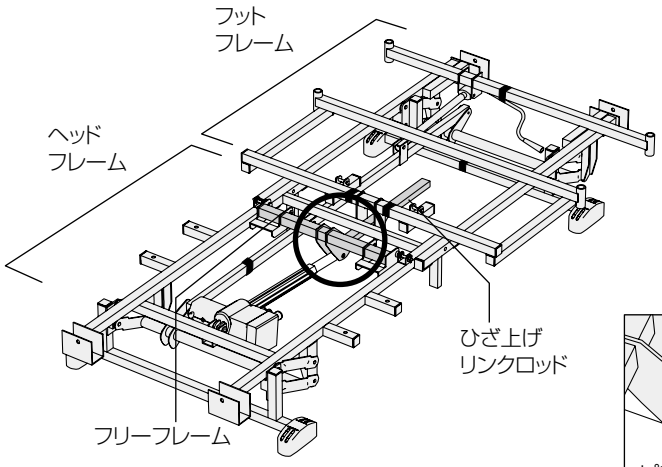
固定バンドの巻きつけ方





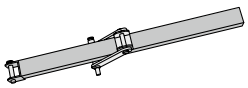


5 ひざ上げリンクロッドの接続

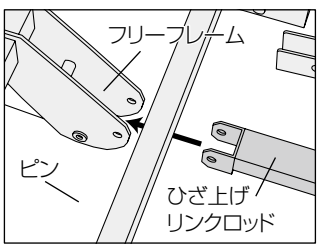


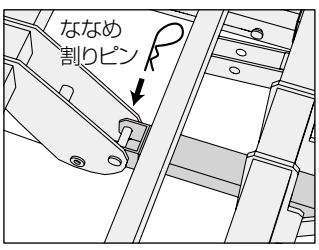
ひざ上げリンクロッドをフリーフレームに接続します。

ひざ上げリンクロッド



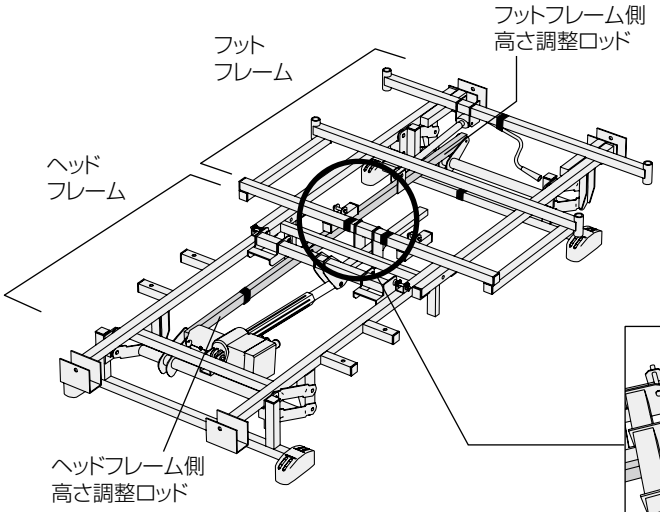
下図のように、2 で外したピンを差し込み、ななめ割りピンで固定してください。



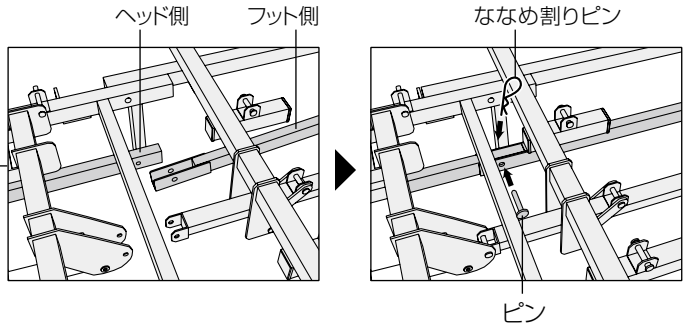


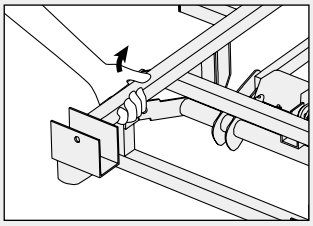
6 高さ調整ロッドおよび足元側アクチュエーター（高さ調整）の接続

●高さ調整ロッドの接続（1モーター+α機能）

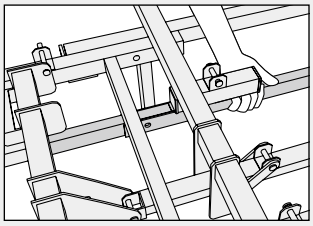


フットフレーム側とヘッドフレーム側の高さ調整ロッドを接続します。2 で外したピンを差し込み、ななめ割りピンで固定してください。



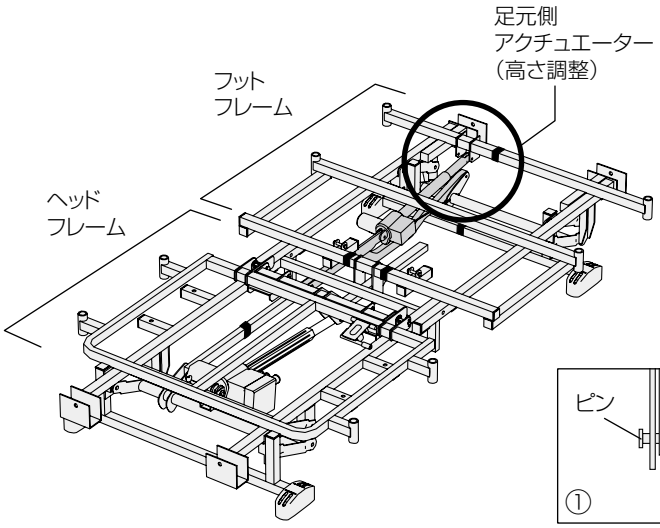


高さ調整ロッドが接続しにくい場合は、ヘッドフレームを少し持ち上げてください。

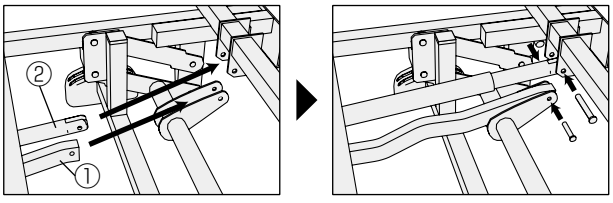


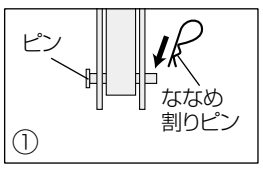
ピンが入りにくい場合は、高さ調整ロッドを少し持ち上げてください。

●足元側アクチュエーター（高さ調整）の接続（2モーター）

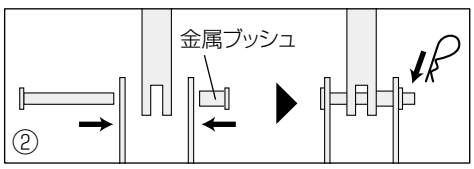


フットフレームに足元側アクチュエーター（高さ調整）を取り付けます。
下図のように①ロッド（下段）、②足元側アクチュエーター（上段）の順で接続してください。



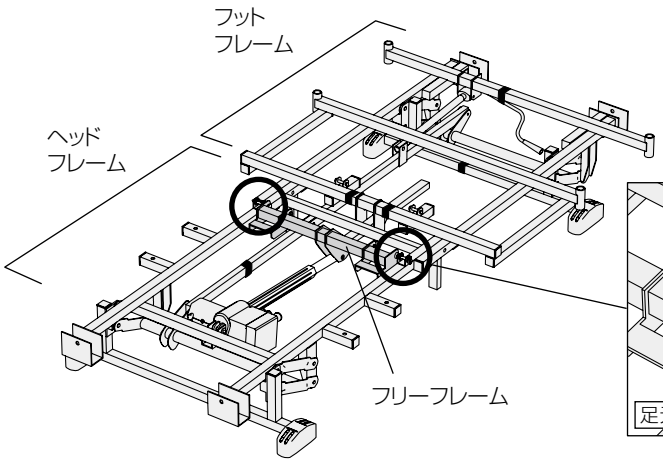


ピンを差し込み、ななめ割りピンで固定してください。



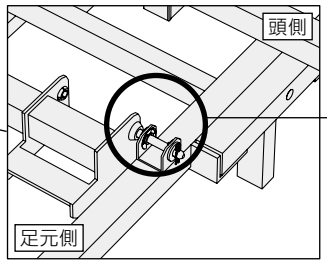
ピンを差し込み、反対側から金属ブッシュを取り付け、ななめ割りピンで固定してください。

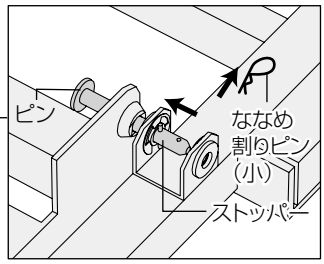
7 背上げフレームの取り付け



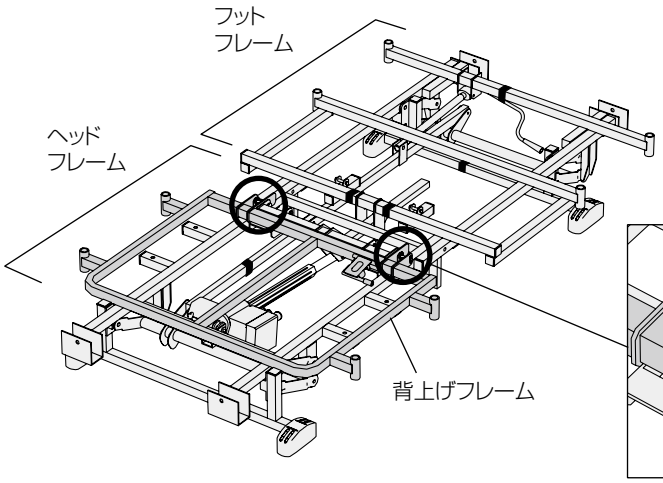
ヘッドフレームに、背上げフレームを取り付けます。

ヘッドフレームとフリーフレームを固定している部分のななめ割りピンを外し、ピンを1/3ほど抜きます。

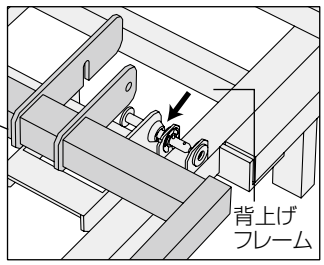


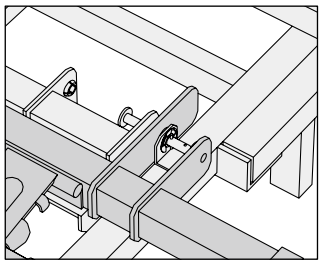


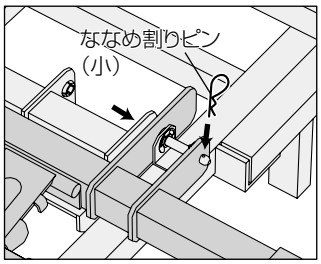
※ピンをすべて抜くとフレームが外れてしまうため、すべて抜けないようにストッパーがついています。



矢印のすき間に、背上げフレーム接続部の切り込みを合わせ、取り付けます。

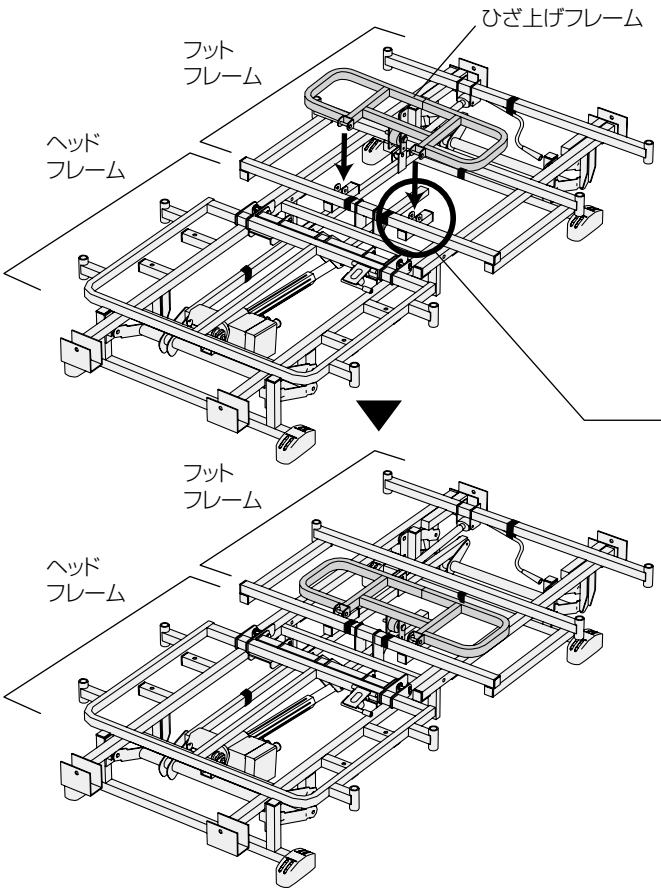






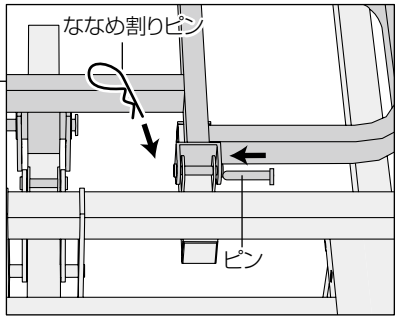
ピンを元通りに差し込み、ななめ割りピンで固定してください。

8 ひざ上げフレームの取り付け



フットフレームにひざ上げフレームを接続します。

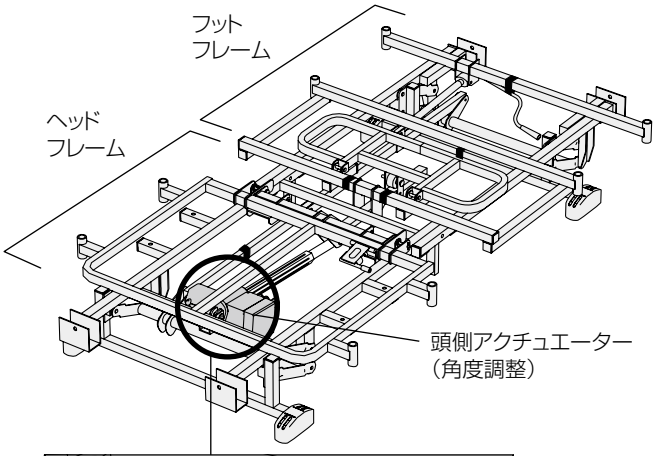
ひざ上げフレームに付いているピンとななめ割りピンを外し、接続部を図のようにフットフレームの所定の位置に合わせます。



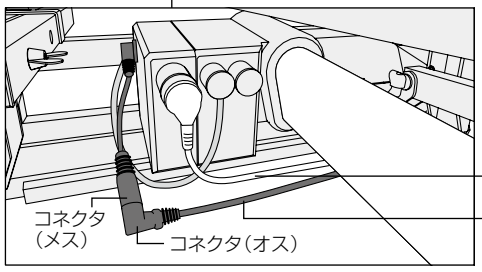
外したピンとななめ割りピンで、ひざ上げフレームを固定します。

9 リモコンの接続

●リモコンの接続方法（1モーター+α機能）



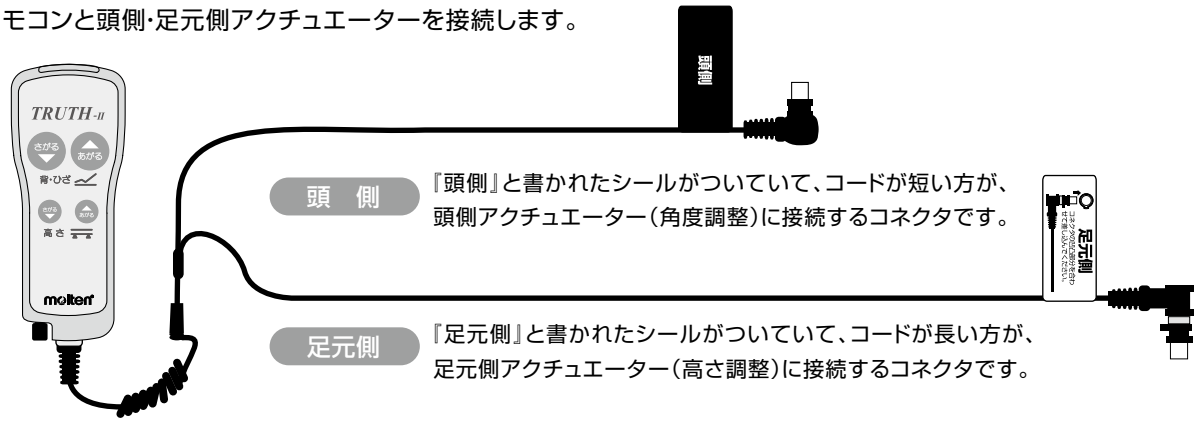
リモコンのコネクターを頭側アクチュエーター（角度調整）に取り付けてください。



リモコンのコネクタ（頭側／オス）を、頭側アクチュエーター（角度調整）から出ているコネクタ（メス）に差し込みます。コネクタの向きに注意して、しっかり差し込んでください。

●リモコンの接続方法(2モーター)

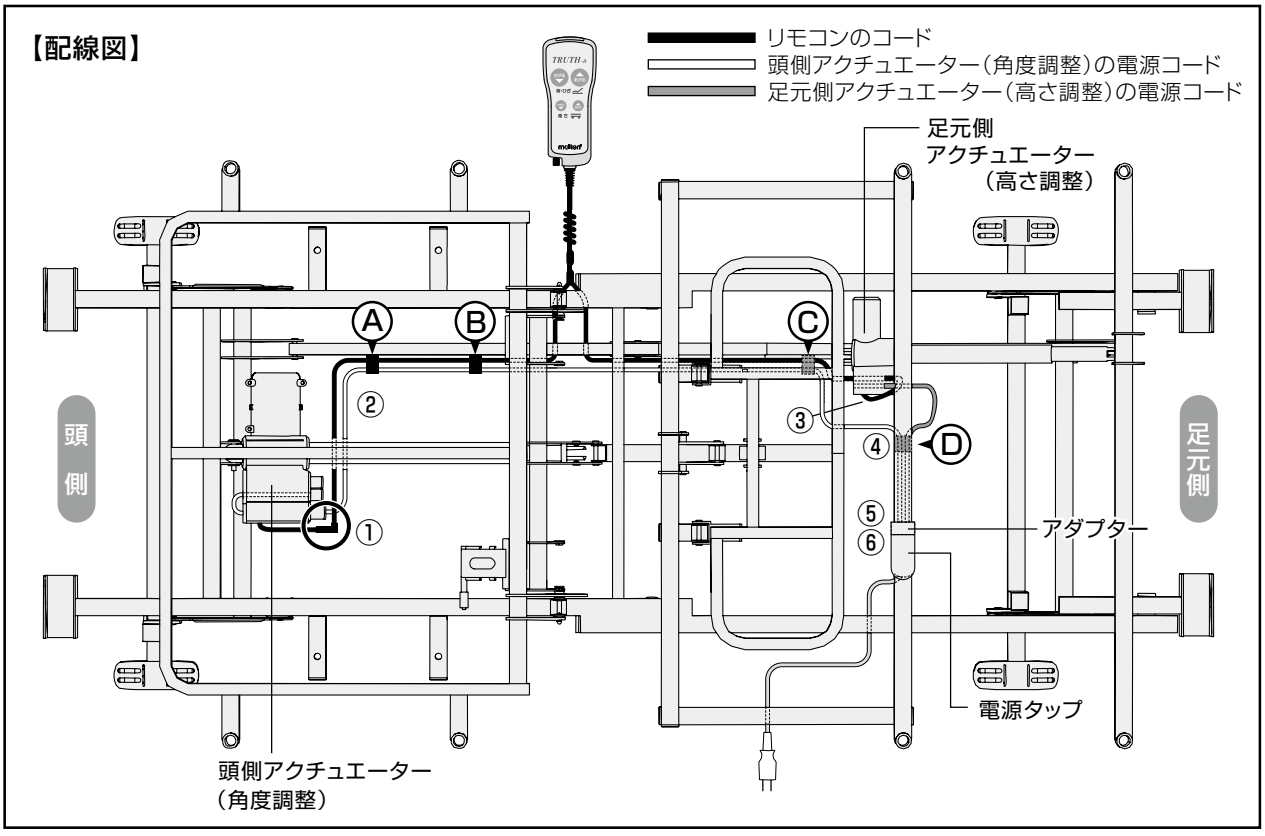
リモコンと頭側･足元側アクチュエーターを接続します。



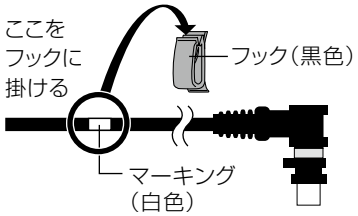
頭　側　『頭側』と書かれたシールがついていて、コードが短い方が、頭側アクチュエーター(角度調整)に接続するコネクタです。

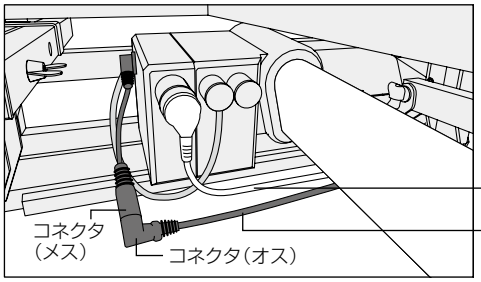
足元側　『足元側』と書かれたシールがついていて、コードが長い方が、足元側アクチュエーター(高さ調整)に接続するコネクタです。

【配線図】

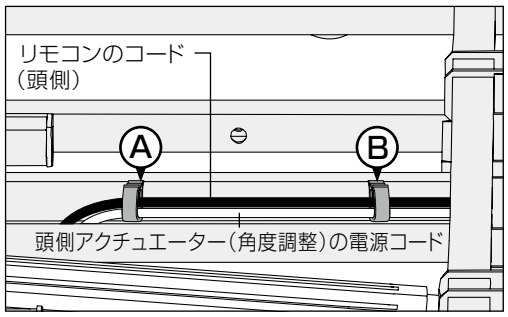


上の【配線図】を見ながら、以下の手順でリモコンとアクチュエーターを接続してください。リモコンコードと各電源コードには、A～Dの各フック(黒色)に掛ける位置を示す白色のマーキングがあります。マーキングの部分をフック(黒色)に掛けるようにしてください。



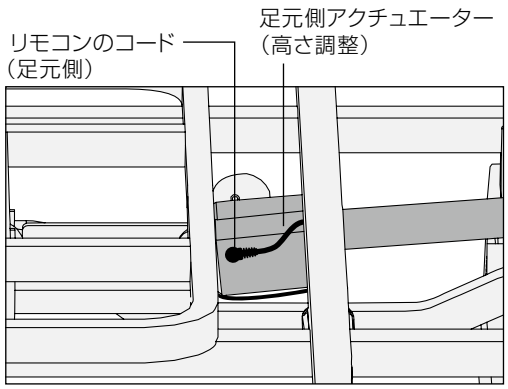


①リモコンのコネクタ(頭側／オス)を、頭側アクチュエーター(角度調整)から出ているコネクタ(メス)に差し込みます。コネクタの向きに注意して、しっかり差し込んでください。

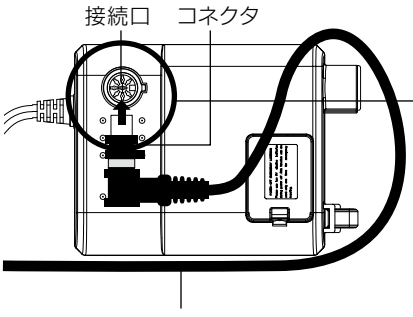


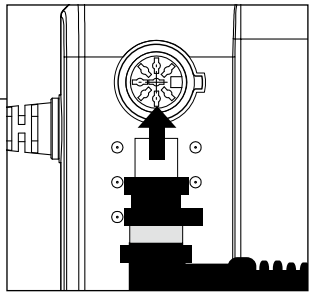
②リモコンのコード（頭側）と、頭側アクチュエーター（角度調整）の電源コードを一つにして、Ⓐと Ⓑのフック（黒色）にかけます。

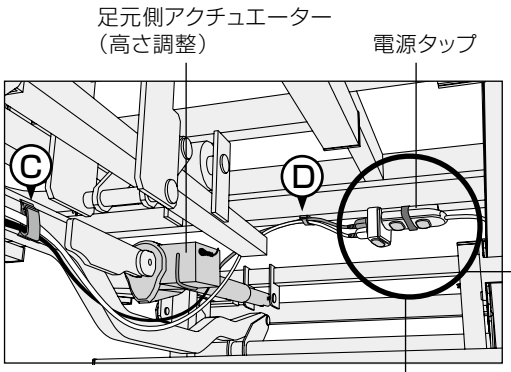
同様に、Ⓒのフック（黒色）には、リモコンのコード（足元側）と頭側アクチュエーター（角度調整）の電源コードを一つにしてかけます。



③リモコンのコネクタ（足元側）を、足元側アクチュエーター（高さ調整）に接続します。コネクタの向きに注意して、しっかり奥まで差し込んでください。

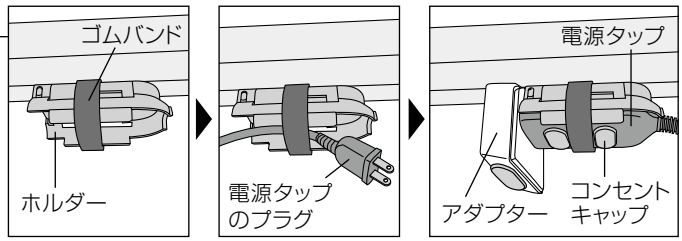


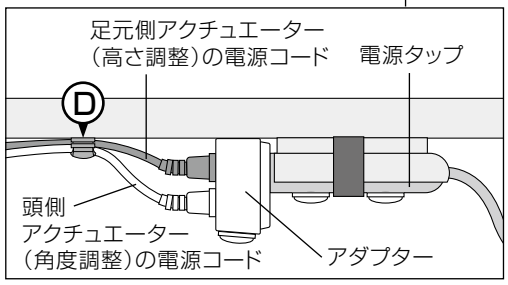




④頭側アクチュエーター（角度調整）と足元側アクチュエーター（高さ調整）の電源コードをⒹのフック（黒色）にかけます。

⑤電源タップをプラグ側からをホルダーに通し、電源タップを下図のようにはめ込みます。電源タップの向きに注意してください。





⑥頭側･足元側アクチュエーターの電源プラグを、左図のように電源タップに差し込みます。

⑦電源タップの電源プラグをコンセントに差し込みます。

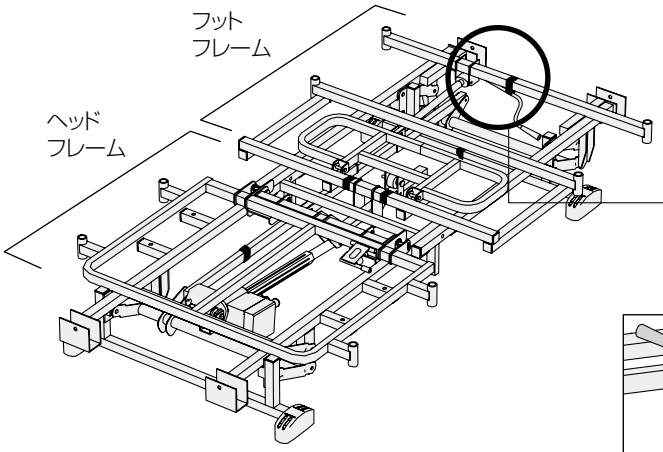
⑧リモコンを使って動作の確認を行ってください。

※フレームを分解する場合は、必ずリモコンの配線を外してから分解してください。
コードが切れたり、故障する恐れがあります。

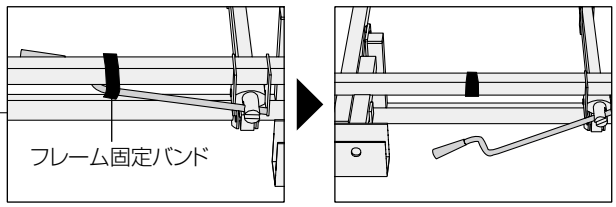
注意

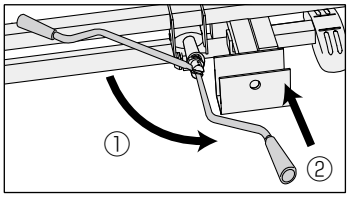
- ●コードがフレームにはさまったり、可動部に引っかからないよう注意してください。
- ●フレーム固定バンドを外してあることを確認してください。
  固定バンドを外さなければベッドは正しく動作しません。
- ●電源タップおよびアダプターに付いているコンセントキャップは取り外さないでください。

10 高さ調整ハンドルの準備（1モーター+α機能）



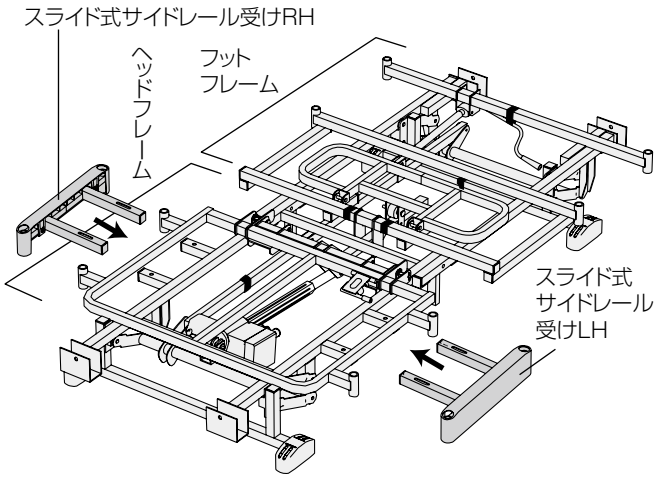
高さ調整ハンドルをとめているフレーム固定バンドを外し、フレームに巻きつけてください。





高さ調整をする場合は、高さ調整ハンドルをまっすぐのばして、奥までしっかり差し込んでください。

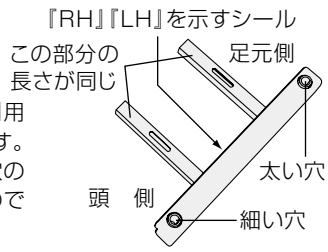
11 スライド式サイドレール受けの取り付け



スライド式サイドレール受けを接続します。

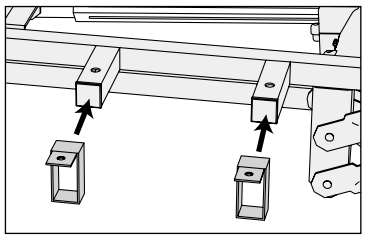
スライド式
サイドレール受け

※足元側から見て、右側用はRH、左側用はLHです。付属品取り付け用の穴のサイズが異なりますのでご注意ください。

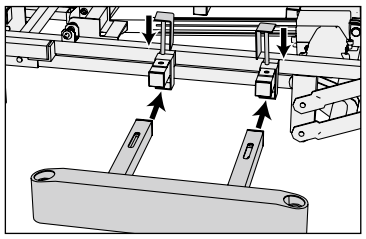


※取り付け穴の細い方が頭側、太い方が足元側になるように接続してください。

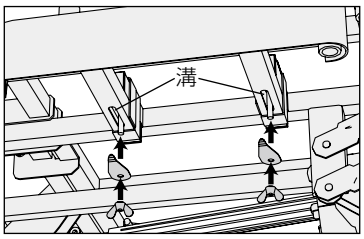
※スライド式サイドレール受けの適合付属品についてはP26をご覧ください。



ヘッドフレームにハンガーフックを図の向きで取り付けます。

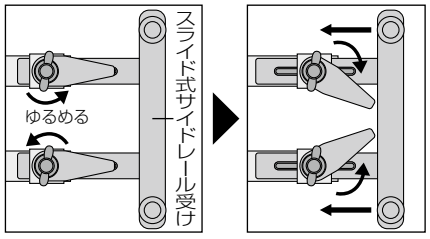


ハンガーフックの受け口にスライド式サイドレール受けを差し込み、上からL型金具を取り付け穴（2ヶ所）に図の向きで差し込みます。



スライド式サイドレール受けを手前に引き出し、ストッパープレートを下から合わせ、蝶ナットをしめて固定します。先端の返しが溝にはまるように取り付けてください。

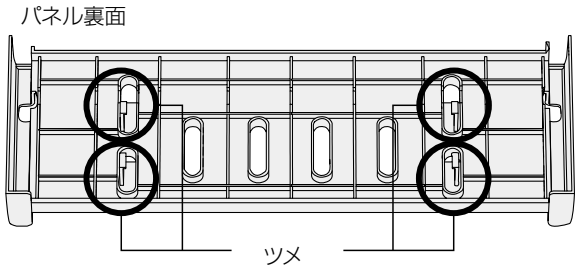
【ベッドの下から見た図】



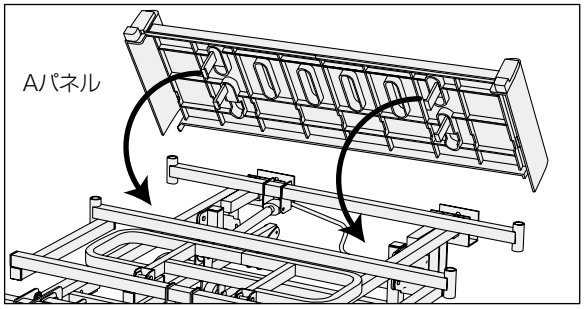
スライド式サイドレール受けを納める場合は、蝶ナットをゆるめてストッパープレートの先端を内側にずらし、奥にスライドしてください。

※付属品を取り付けないときには、スライド式サイドレール受けを上記手順で納めてください。

12 パネルの取り付け

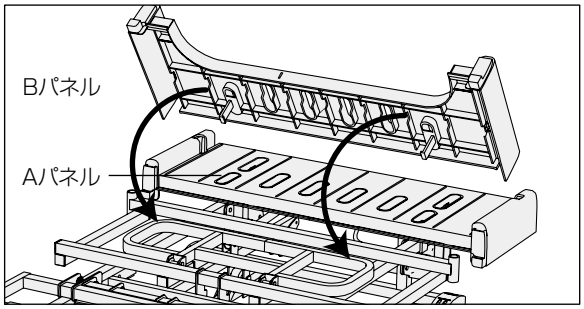


パネルを取り付ける場合は、各パネルに刻印されているモルテンロゴが足元側から見て正面になるように取り付けてください。
パネル裏面に、フレームに取り付けるためのツメがあります。
その左右のツメでフレームに取り付けます。
目印を合わせて付けてください。
パネルは足元側から順に取り付けてください。

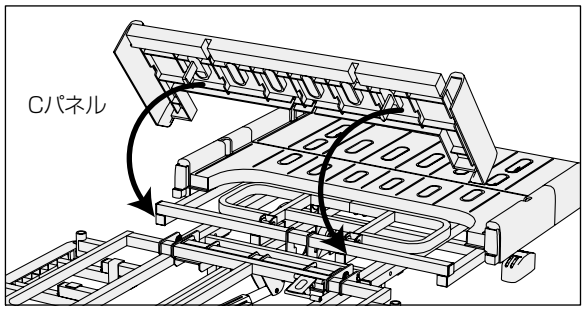


足元側のパネルを取り付けます。

●Aパネル
フットフレームの手すり取り付け穴とAパネルの手すり取り付け穴を合わせて取り付けてください。

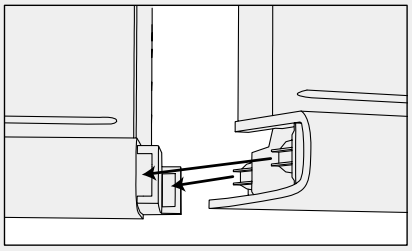


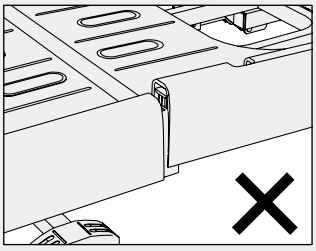
●Bパネル
フレームの手すり取り付け穴とBパネルの手すり取り付け穴を合わせて取り付けてください。
両端のAパネルとBパネルの継ぎ目が浮かないようにしっかり接続してください。

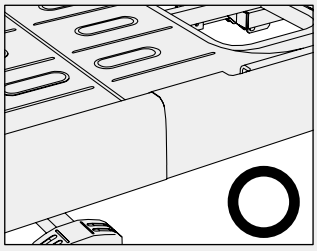


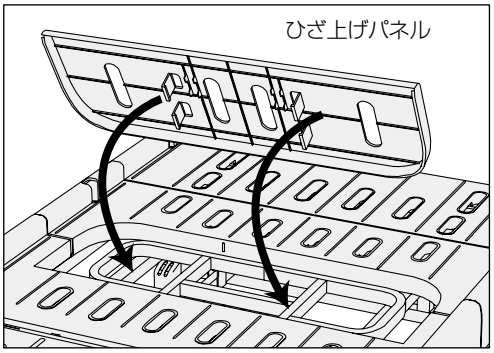
●Cパネル
同様にCパネルを取り付けてください。

注意　●フレームとパネルの間に指をはさまないように注意してください。

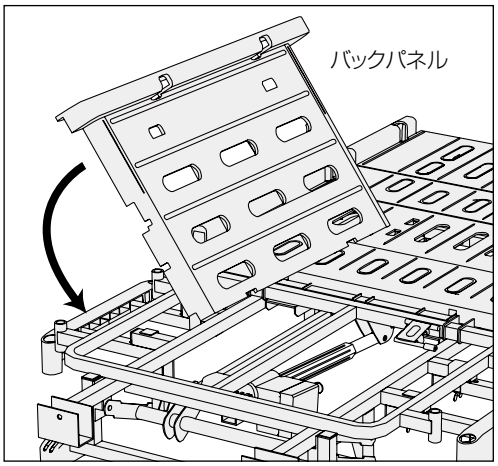

各パネルの継ぎ目が浮かないようにしっかり接続してください。


継ぎ目が浮いている


継ぎ目がフラット

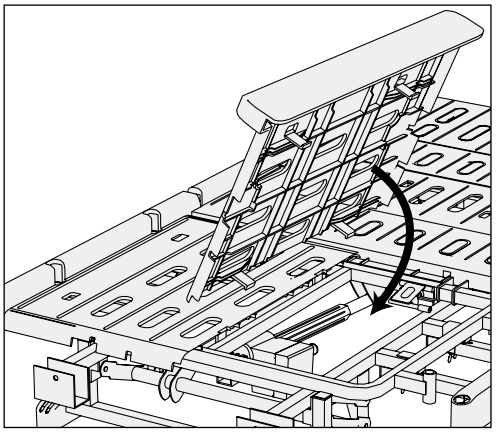


●ひざ上げパネル
左図のようにひざ上げパネルを取り付けてください。



頭側のパネルを取り付けます。

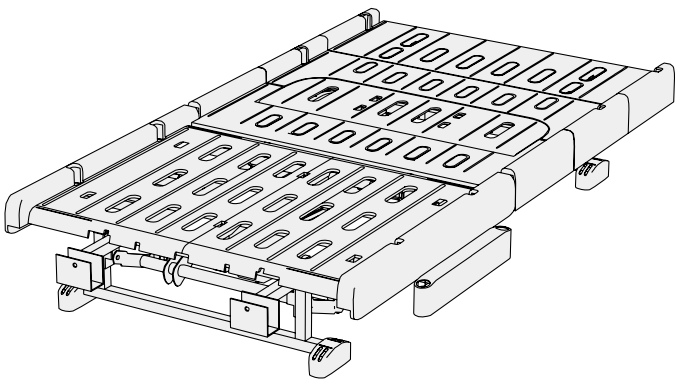
●バックパネル
バックパネルを取り付けてください。
（バックパネルは左右共通になっています）
イラストの様にパネル中央部をはめてから取り付けると簡単です。



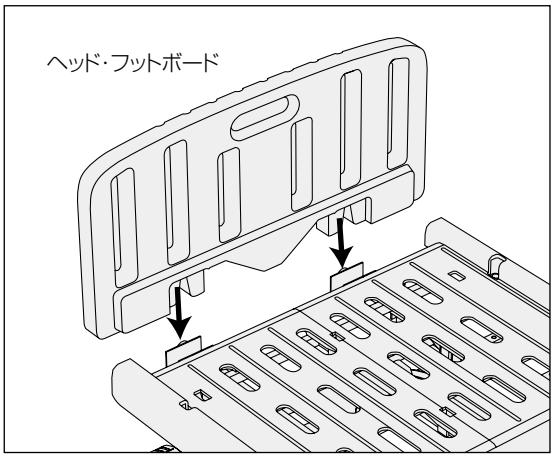
反対側のバックパネルを取り付けてください。
（バックパネルは左右共通になっています）
イラストの様にパネル中央部をはめてから取り付けると簡単です。

注意	●フレームとパネルの間に指をはさまないように注意してください。

以上でパネルの取り付けは完了です。

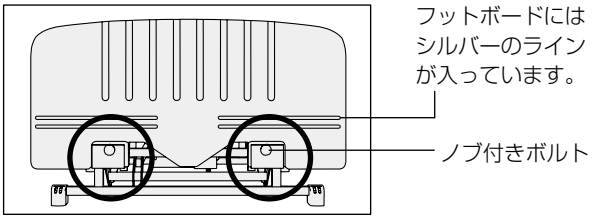


13 ボードの取り付け

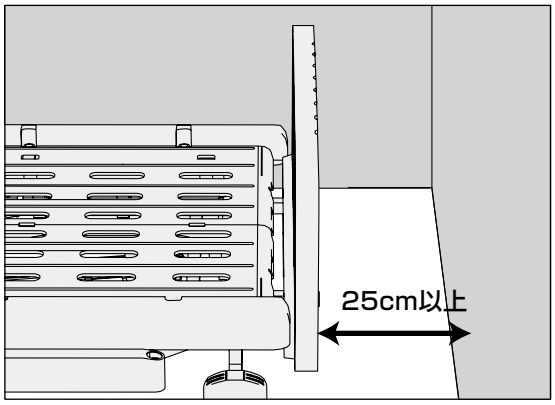


●ヘッド･フットボードの取り付け
ヘッド･フットボードを取り付けます。
ヘッド･フットボードをフレームに差し込み、ノブ付きボルトを取り付け、2ヶ所をしめて固定してください。

※フットボードにはシルバーのラインが入っています。ヘッドボードと間違えて取り付けないようにしてください。

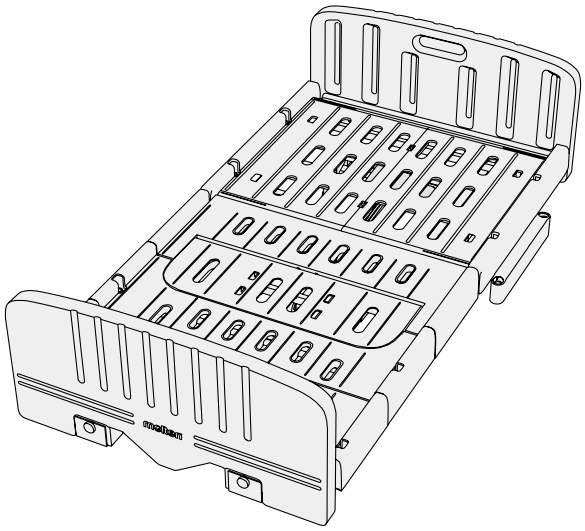


⚠ 警告
- ●ヘッド･フットボードの向きをを間違えないように取り付けてください。
- ●ヘッド･フットボードの取り付け位置を間違えないように取り付けてください。



壁とヘッドボードとの距離を25cm以上離してください。高さを最低高から最大高まで上げると、約10cm頭側に動きます。

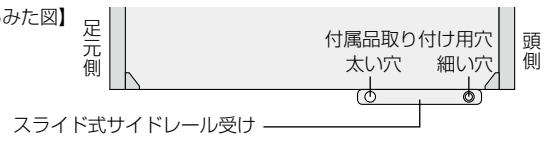
以上でボードの取り付けは完了です。



床･畳のキズやへこみの防止に、エフプロテクター（別売）をご使用ください。
品番　MFP-BE（ベージュ）／MFP-GR（グレー）
●サイズ：直径20×厚さ0.8cm
●素　材：オレフィン系エラストマー
品番　MFPC-BR（カーペット）
●サイズ：直径18×厚さ0.7cm
●素　材：PP繊維

●ベッド組み立て後の確認事項

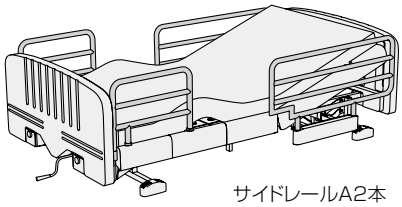
組み立てが完了しましたら、下記の点検項目を確認してください。
またこの点検項目は日常の点検にもお使いください。

点検項目		確認	
1	**ヘッドフレームとフットフレームの接続** ・ピンと割りピンが取り付けてありますか?(左右2ヶ所)	**YES** □	**NO** P14、P15参照
2	**フレーム固定バンドの確認** ・フット側2ヶ所(2モーターは3ヶ所)、ヘッド側1ヶ所の フレーム固定バンドを外していますか?	**YES** □	**NO** P15参照
3	**ひざ上げリンクロッドの接続** ・ピンと割りピンが取り付けてありますか?	**YES** □	**NO** P15参照
4	**高さ調整ロッドの接続** ・ピンと割りピンが取り付けてありますか?	**YES** □	**NO** P16参照
5	**アクチュエーターの確認(角度調整・高さ調整)** ・リモコンの「あがる」、「さがる」を押して作動しますか? ・異常音や振動がありませんか?	**YES** □	**NO** P18、P19、P20参照
6	**高さ調整ハンドルの確認** ・ハンドルを回しスムーズに上昇、下降しますか?	**YES** □	**NO** P21参照
7	**パネルの固定** ・各パネルがきちんと固定されていますか? ・パネルとパネルの連結部が浮き上がっていませんか?	**YES** □	**NO** P22、P23参照
8	**ヘッド・フットボードの固定** ・ノブ付きボルトはしっかりしまっていますか?	**YES** □	**NO** P24参照
9	**電源コードの確認** ・可動部やフレームにはさまれていませんか? ・フック(黒色)に正しく取り付けていますか?	**YES** □	**NO** P18、P19、P20参照 コードがはさまれると危険なので フレームの間は通さないでください。
10	**すき間の確認** ・壁とヘッドボードの距離は25cm以上ありますか? ・壁とフットボードの距離は30cm以上ありますか? ・壁とベッドサイドの距離は8cm以内または45cm以上ですか?	**YES** □	**NO** P13参照
11	**サイドレールとベッド用グリップ(手すり)の高さの確認** ・サイドレールとベッド用グリップ(手すり)の高さは 使用するマットレスに対して適正ですか?	**YES** □	**NO** P26、P27、P28参照
12	**障害物の確認** ・背を上げたままベッドの高さを一番上まで上げたとき、 周辺の物に当たらないように設置してありますか?	**YES** □	**NO** P13参照 ベッドを移動するか 障害物を取り除いてください。
13	**スライド式サイドレール受けの接続** ・スライド式サイドレール受けは正しく接続されていますか? ・ハンガーフック・L型金具・ストッパープレート・蝶ナットが正しく取り付けられていますか? ・付属品が正しく取り付けられますか? ・付属品取り付け用穴は細い方が頭側となっていますか? 【ベッドを上からみた図】  	**YES** □	**NO** P21参照 スライド式サイドレール受けの 接続位置を間違えると 付属品が正しく取り付けられません。

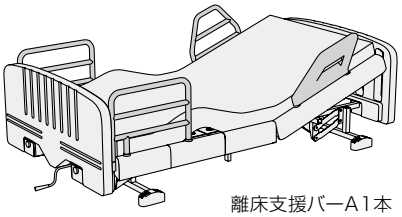
●より安全に使用するためのトゥルース-Ⅱと付属品の組み合わせ

●付属品の組み合わせ例

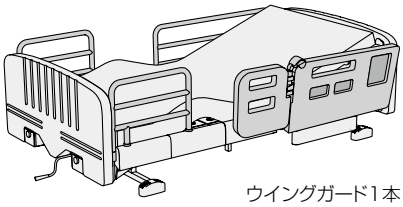
付属品であるサイドレールやベッド用グリップは、ベッド本体（トゥルース-Ⅱ）の専用として使用してください。



サイドレールA2本
サイドレールB2本
※スライド式サイドレール受け使用



離床支援バーA1本
離床支援バーB1本
サイドレールB2本



ウイングガード1本
サイドレールA1本
サイドレールB2本
※スライド式サイドレール受け使用

上記3パターンは代表的な例です。
トゥルース-Ⅱおよび付属品（サイドレール・ベッド用グリップ）は、その他の全ての組み合わせにおいて【JIS規格】に合格しています。

●適合付属品

マットレスの厚さに合わせてサイドレールとベッド用グリップ（手すり）を選定してください。

JIS認証

使用するマットレス厚さ	品番		品名	スライド式サイドレール受けの適合
14cm以下	サイドレール	**MTUT10DB**	サイドレールA（頭側用）	可
14cm以下		**MTUT11DB**	サイドレールB（足元側用）	不可
14cm以下	ベッド用グリップ（手すり）	**MMPR03BE**	ウイングガード（ノーマルタイプ）	可
		MMPR08BE	ウイングガードS（ノーマルタイプ）	
——		**MTUT12DB**	離床支援バーA	不可
——		**MTUT13DB**	離床支援バーB	不可
——	キャスター	**MMPR06BE**	キャスターセット	——
——	脚座	**MFP-BE**（ベージュ） **MFP-GR**（グレー） **MFPC-BR**（カーペット）	エフプロテクター	——

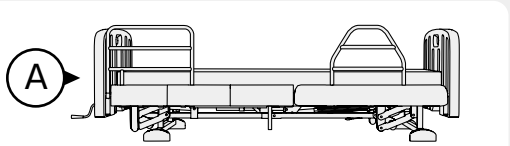
⚠ 警告

- ●上記以外の付属品は使用しないでください。
- ●ベッド本体に取り付ける付属品と、スライド式サイドレール受けに取り付ける付属品を、同じ位置で同時に使用しないでください。
- ●離床支援バーを使用する場合は、スライド式サイドレール受けを取り外してください。

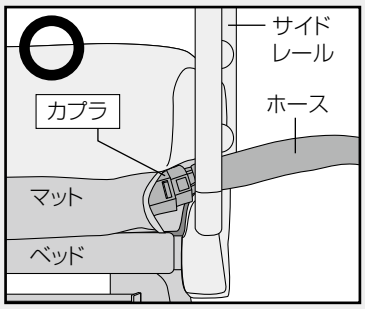
付属品の適合

●マットレス使用時の注意点

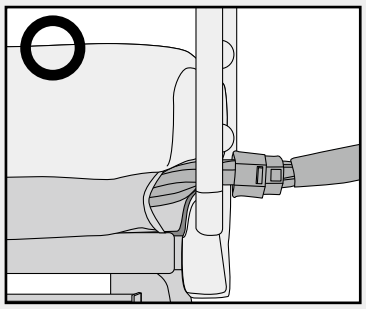
圧切替型マットレスを使用する場合は、マットレスとポンプをつなぐカプラがサイドレールにはさまれないよう、注意して設置してください。



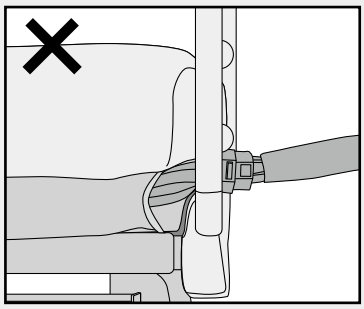
下図はAの視点から見た説明です。



▲カプラがサイドレールより内側に入っている。



▲カプラがサイドレールより外側に出ている。



▲カプラがサイドレールの真下にはさまっている。

マットレスの適合

●適合マットレス

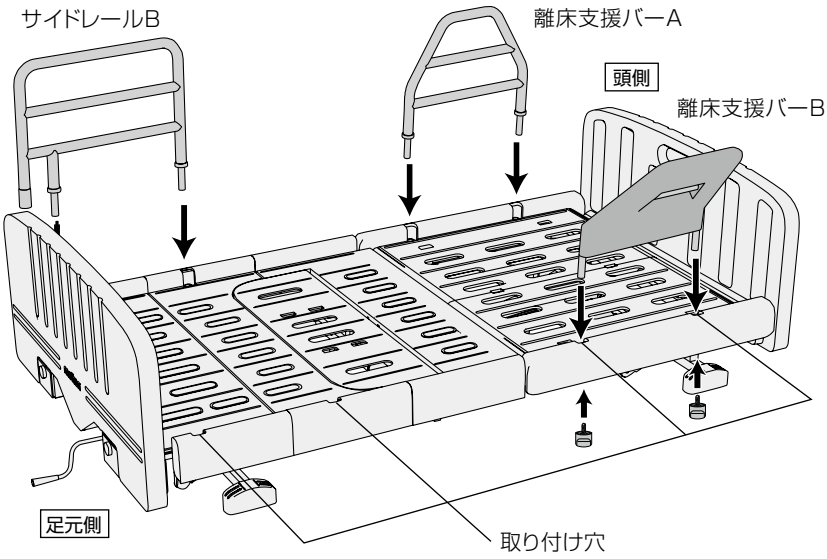
品　番	品　名	特　長
MGRASL91	グランデスリム 厚さ:14cm	グランデの基本機能はそのままに、ベッドからの転落対策を優先させたエアマットレス ●①寝返り ②体型 ③足の変形（下肢拘縮） ④むくみ（浮腫） ⑤痛み ⑥床ズレ ⑦発汗の7つの項目で利用者の細かな身体状況を判定。ポンプ操作パネルに判定結果を入力すると、マットレスの「かたさ」「動作」「厚さ」「除湿レベル」が自動的に設定されます。 ●マイクロセル（D/E）とフィッティング層（B/C）、2つの層で交互に圧切り替えを行うことで、優れた除圧性能を発揮します。特に局所（骨突出部、仙骨部、踵など）の圧迫力対策に効果的です。 ●「ベッドのサイドレールやボードの高さ」、「利用者の活動性（寝返り）や認知症」との兼ね合いでマットレスの厚みを制限し、薄手11cmにすることで転落対策を行います。 ●ボタンを押すだけで一時的に目的に応じた設定ができるアシスト機能を備えています。（リハビリモード／背上げモード／強力除湿モード）
MNS91	ナッソー 厚さ:13cm	長時間維持する優れた体圧分散性能とベッド背上げ時の苦しさを解決したマットレス ●かたさの異なる高密度ウレタンフォームを3層構造にすることで、各種体位での優れた体圧分散性能と端座位やベッド背上げでの座位時の安定感を向上しています。 ●中間層の両側10cm幅にかためのウレタンフォームを設けることで、端座位時の安定感を更に向上し、ずり落ちを対策しています。 ●3層構造のウレタンフォームがベッド背上げの動きに合わせてスライドし、背上げ時に背中にかかる苦しさの原因となる頭側から押さえ込む圧を吸収。ベッド背上げ時の楽な姿勢を確保します。 ●長期間使用による“へたり”が発生しにくい、高密度中～高反発系ウレタンフォームを使用。優れた体圧分散性能が長く続きます。 ●衛生面と感染対策を考慮した防水カバー。マットレスが汚れたときは素早く清拭でき、衛生的な環境を保ちます。ベッド背上げ時や体位変換時にシワになりにくい素材で、取り外して洗濯もできます。

マットレスの適合

品　番	品　名	特　長
MNC91	ナッキー 厚さ:13cm	長時間維持する優れた体圧分散性能を持つ3層式高密度ウレタンフォームマットレス ●かたさの異なる高密度ウレタンフォームを3層構造にすることで、各種体位での優れた体圧分散性能と端座位やベッド背上げでの座位時の安定感を向上しています。 ●中間層の両側10cm幅にかためのウレタンフォームを設けることで、端座位時の安定感を更に向上し、ずり落ちを対策しています。 ●長期間使用による"へたり"が発生しにくい、高密度中～高反発系ウレタンフォームを使用。優れた体圧分散性能が長く続きます。 ●衛生面と感染対策を考慮した防水カバー。マットレスが汚れたときは素早く清拭でき、衛生的な環境を保ちます。ベッド背上げ時や体位変換時にシワになりにくい素材で、取り外して洗濯もできます。
MPX1091 **MPXV1091**	ピュアレックス10 (防水・清拭タイプ) ピュアレックス10 (通気・洗浄タイプ) 厚さ:10cm	優れた体圧分散性能が続く、3分割構造のゲル+ウレタンフォームマットレス ●伸縮性やフィッティング性に優れた皮膚感覚のゲル素材と体圧分散性能や安定感に優れたウレタンフォームを組み合わせることで、体にかかる圧(圧迫力やずれ力)を低減します。 ●ローテーションや部分交換により、長期間使用による"へたり"の発生を低減する3分割構造。優れた体圧分散性能が長く続きます。 ●本体素材は衛生面と感染対策を考慮した防水加工。マットレスが汚れたときは素早く清拭でき、衛生的な環境を保ちます。 ●快適性を考慮した通気カバー。汗や水分を素早く吸収拡散し、いつもサラサラで快適な状態を保ちます。カバーは取り外して洗濯できます。
MHA1091 **MHAV1091**	ソフィア (防水・清拭タイプ) ソフィア (通気・洗浄タイプ) 厚さ:10cm	長時間維持する体圧分散性能と2つの寝心地を選べるリバーシブル構造マットレス ●独自のスリット形状により身体を優しく支え、快適な寝心地と寝返りや立ち上がりがしやすい安定感を両立しています。 ●かたさの異なるリバーシブル(両面)仕様。オモテ面とウラ面を好みで使い分けることができます。 ●長期間使用による"へたり"が発生しにくい、中密度高反発系ウレタンフォームを使用。快適な寝心地が長く続きます。 ●衛生面と感染対策を考慮した防水カバー。マットレスが汚れたときは素早く清拭でき、衛生的な環境を保ちます。カバーは取り外して洗濯できます。 ●快適性を考慮した通気カバー。汗や水分を素早く吸収拡散し、いつもサラサラで快適な状態を保ちます。カバーは取り外して洗濯できます。
MHASD91	ソフィアSD 厚さ:8cm	長時間維持する体圧分散性能と2つの寝心地を選べる リバーシブル構造のウォッシャブルマットレス ●独自のスリット形状により体を優しく支え、快適な寝心地と寝返りや立ち上がりがしやすい安定感を両立しています。 ●かたさの異なるリバーシブル(両面)仕様。オモテ面とウラ面を好みで使い分けることができます。 ●長期間使用による"へたり"が発生しにくい、中密度高反発系ウレタンフォームを使用。快適な寝心地が長く続きます。 ●衛生面と感染対策を考慮した防水カバー。マットレスが汚れたときは素早く清拭でき、衛生的な環境を保ちます。カバーは取り外して洗濯できます。 ●排水性(水切り性)に優れた無膜加工のウレタンフォームにより、マットレスの丸洗いを可能にしています。カバーを付けたまま、マットレス専用洗浄機・乾燥機を使用することができます。 ●快適性を考慮したメッシュ素材の通気カバー。いつも快適な状態を保ちます。 カバーだけの洗濯もできます。
MRF1091 **MRFV1091**	ルフラン (防水・清拭タイプ) ルフラン (通気・洗浄タイプ) 厚さ:10cm	かたさの異なるウレタンフォーム2層構造で快適な寝心地と安定感を実現した、 布団感覚で使えるマットレス ●体を優しく支える上層と、しっかり支える下層の2層構造により、快適な寝心地と寝返りや立ち上がりがしやすい安定感を両立しています。 ●長期間使用による"へたり"が発生しにくい、中密度高反発系ウレタンフォームを使用。快適な寝心地が長く続きます。 ●衛生面と感染対策を考慮した防水カバー。マットレスが汚れたときは素早く清拭でき、衛生的な環境を保ちます。カバーは取り外して洗濯できます。 ●快適性を考慮した通気カバー。汗や水分を素早く吸収拡散し、いつもサラサラで快適な状態を保ちます。カバーは取り外して洗濯できます。

付属品の取り付け方法

1　ベッド本体に取り付ける場合

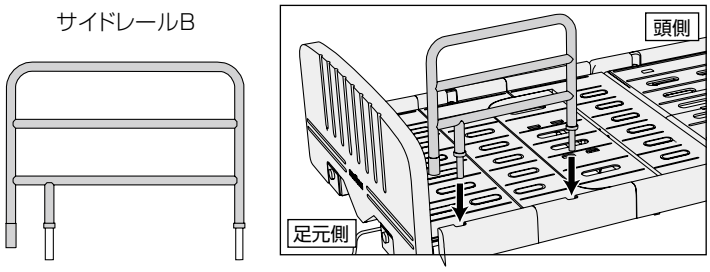


ベッドの両サイドにある取り付け穴を利用して、サイドレール、離床支援バーA·Bを使用できます。

⚠ 警告

- ベッド本体に取り付ける付属品と、スライド式サイドレール受けに取り付ける付属品を、同じ位置で同時に使用しないでください。
- 離床支援バーを使用する場合は、スライド式サイドレール受けを取り外してください。(P37参照)

●サイドレールBの取り付け方法

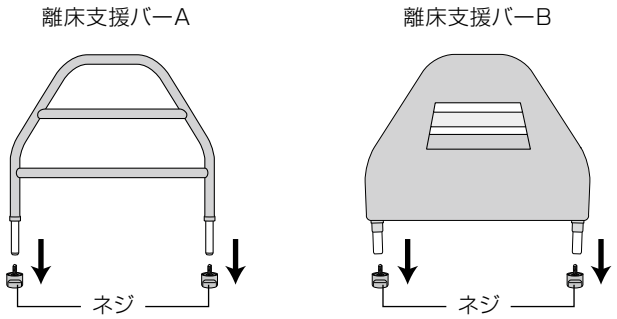


サイドレールBを、左図のように足元側の取り付け穴に差し込んでください。

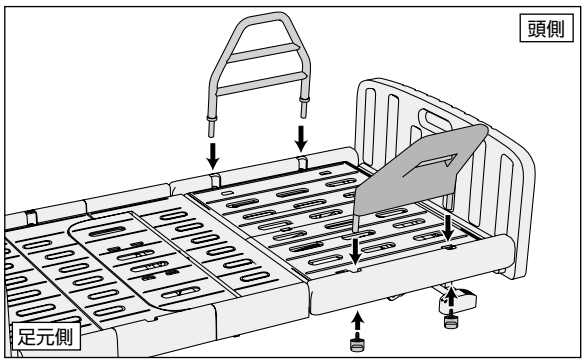
⚠ 警告

- 頭側では使用しないでください。

●離床支援バーAまたは離床支援バーBの取り付け方法



離床支援バーAまたは離床支援バーBの一番下についているネジ2ヶ所を取り外してください。
ヘッド側の取り付け穴に離床支援バーAまたは離床支援バーBを取り付け、先ほど取り外したネジをパネルの裏からしめ込んでしっかり固定してください。
※しっかりネジをしめてください。

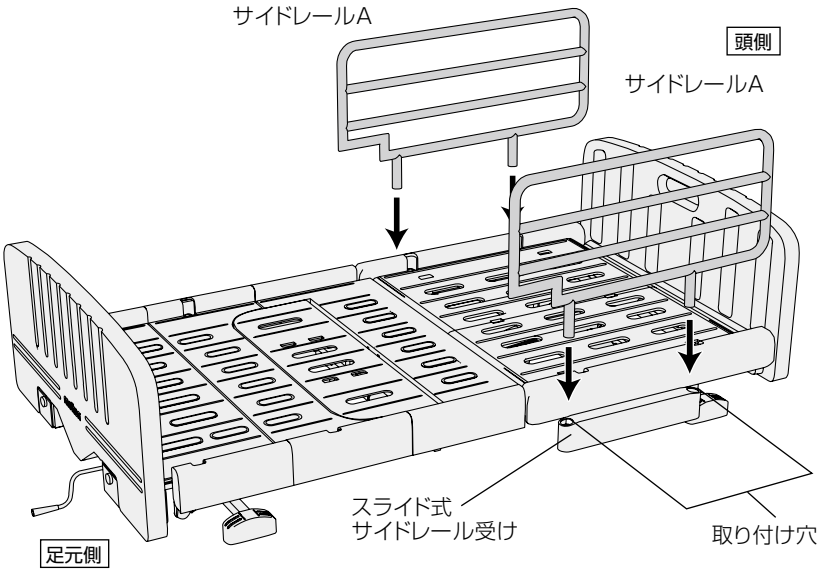


⚠ 警告

- 足元側では使用しないでください。
- 必ずネジをしっかりとしめてください。
- 離床支援バーを使用する場合は、スライド式サイドレール受けを取り外してください。(P37参照)

※使用方法の詳細は、各取扱説明書でご確認ください。

2 スライド式サイドレール受けを利用して取り付ける場合

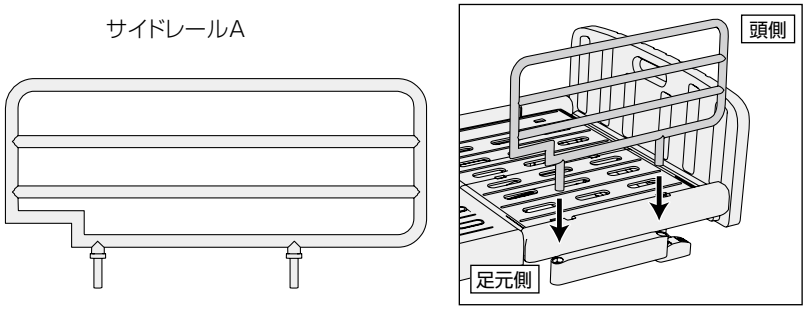


ベッドの両サイドにあるスライド式サイドレール受けを利用して、サイドレールAを使用できます。
スライド式サイドレール受けは組み立て時に取り付けを行います。
スライド式サイドレール受けの取り付けはP21の組み立て方法を参照してください。

⚠ 警告

●ベッド本体に取り付ける付属品と、スライド式サイドレール受けに取り付ける付属品を、同じ位置で同時に使用しないでください。

●サイドレールAの取り付け方法

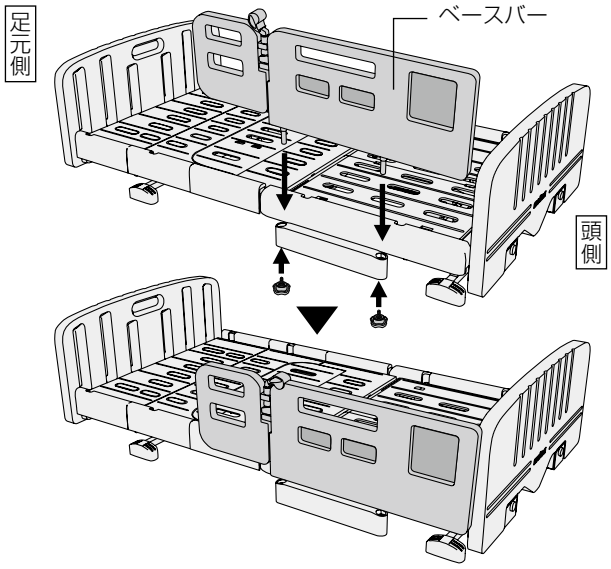


サイドレールAをスライド式サイドレール受けの取り付け穴に差し込んでください。

⚠ 警告

●スライド式サイドレール受け以外に使用しないでください。

●ウイングガードの取り付け方法（ウイングガードSも同様に取り付けます。）



ウイングガードのベースバーをスライド式サイドレール受けに取り付けます。
奥まで差し込み、下から固定ネジをしめて取り付けてください。

※頭側･足元側を確認し、正しい向きで設置してください。
逆向きに取り付けることはできません。

⚠ 警告

●スライド式サイドレール受け以外に使用しないでください。
●必ずネジをしっかりとしめてください。

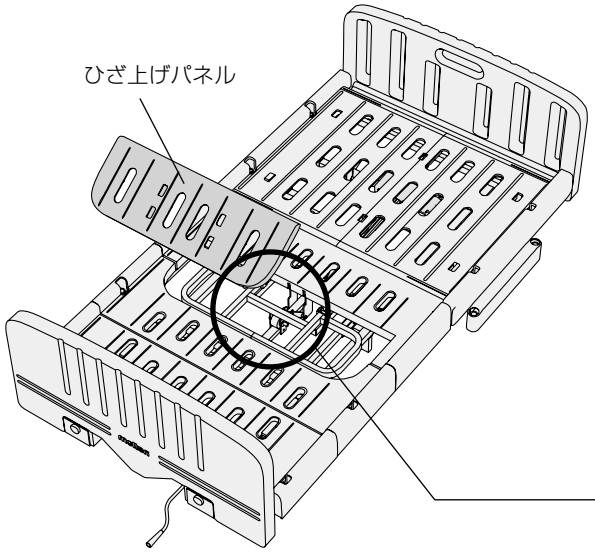
※使用方法の詳細は、各取扱説明書でご確認ください。

ひざ上げ連動の解除方法

トゥルース-Ⅱは背上げひざ上げ連動を、ひざ上げフレームのローラーを外すことにより解除することができます。
ご本人の状態に合わせて使い分けてください。

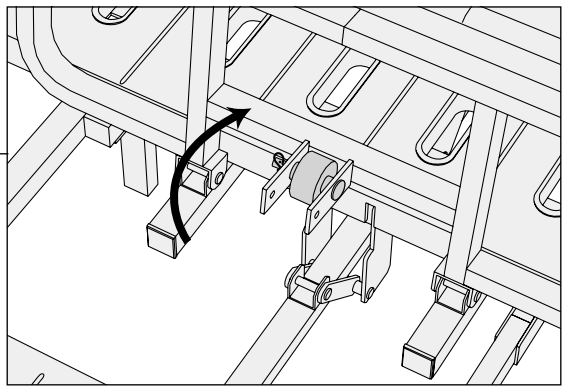
※ラジオペンチ、プライヤーなどが必要です。工具は付属していません。

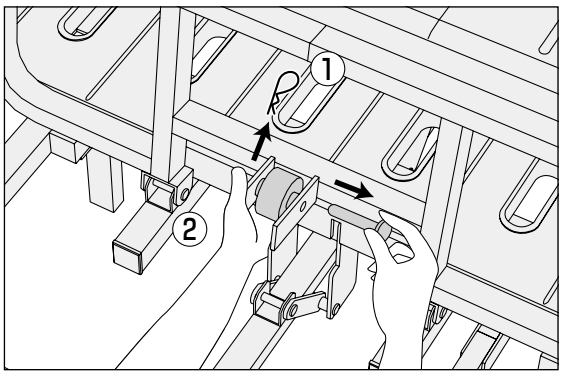
※この作業は販売店の方に依頼されることをお勧めいたします。



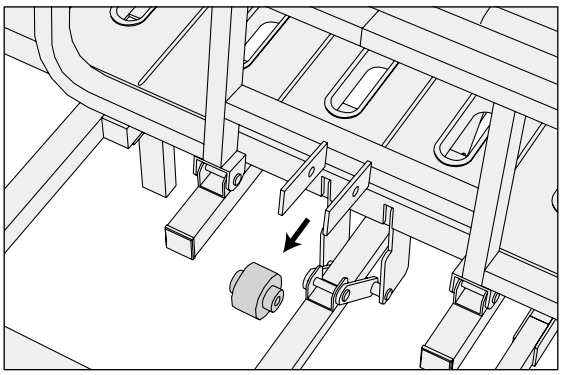
背上げをフラットにしてください。
ひざ上げパネルを外してください。

ひざ上げフレームをはね上げることでローラーの取り外し作業が行いやすくなります。





ひざ上げフレームとローラーを接続しているななめ割りピンを外し(①)、ローラーを手で持ちながら(②)ピンを外してください。



ローラーを取り外してください。

※取り外したローラーとピン、割りピンは、背上げ・ひざ上げを連動させたい場合に必要となりますので紛失しないよう大切に保管してください。

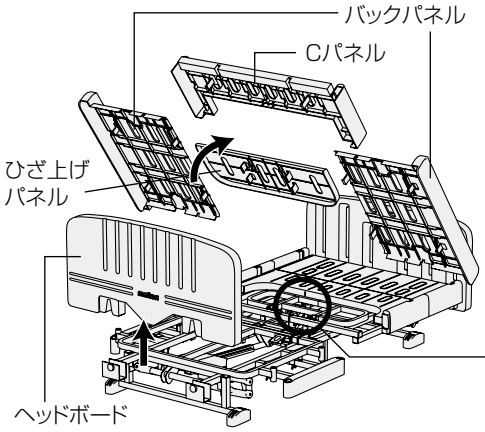
※背上げと連動する状態に戻す場合は、上記解除方法と逆の手順でローラーを取り付けてください。

緊急時の背下げ方法

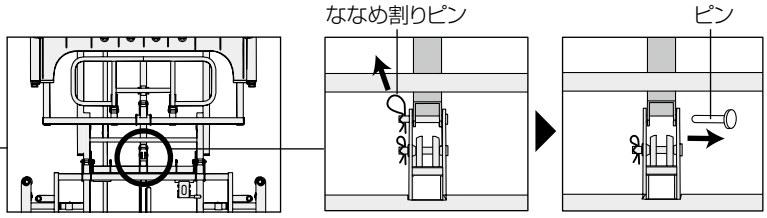
停電時や故障などで背下げできないときは、以下の方法で背下げしてください。

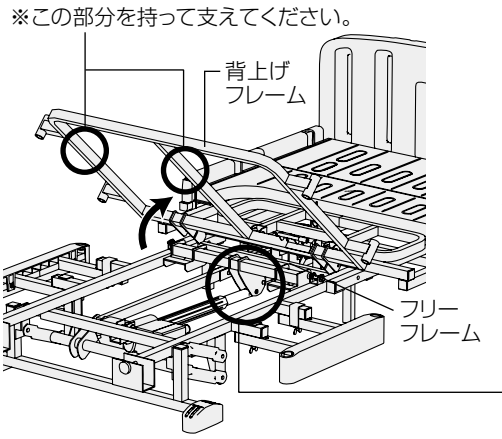
※ラジオペンチ、プライヤーなどが必要です。工具は付属していません。

※この作業は必ず2名以上で行ってください。作業する場合は、電源プラグを必ず抜いてください。



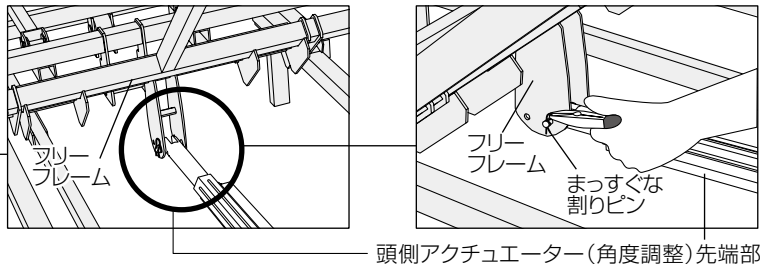
ご本人と寝具･マットレスをベッドから移動させてください。
ベッドの高さを一番下まで下げてください。
ヘッドボード、バックパネル、Cパネル、ひざ上げパネルを取り外してください。ひざ上げリンクロッドとフリーフレームを接続しているななめ割りピンを外してください。

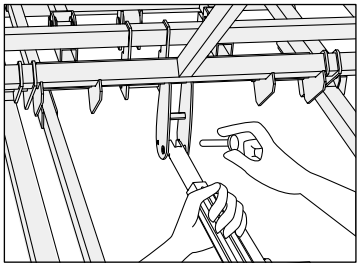


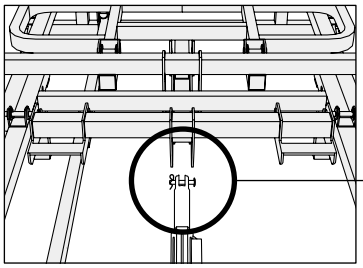


1人の方が背上げフレームとフリーフレームを手で持ち上げ、支えてください。
もう1人の方が頭側アクチュエーター（角度調整）先端部とフリーフレームを固定しているまっすぐな割りピンをラジオペンチなどで外してください。

※この作業には、ラジオペンチ、プライヤーなどが必要です。







頭側アクチュエーター（角度調整）を手で持ちながらピンを外してください。
ピンを外すと、フリーフレームとひざ上げフレームが自由に動くようになります。
※背上げフレームの角度によっては、ピンを外すと上記部分が回転してきますので、フリーフレームはしっかりと支えてください。

注意

- 抜いたピンとまっすぐな割りピンは紛失防止のため、頭側アクチュエーター（角度調整）先端に取り付けてください。

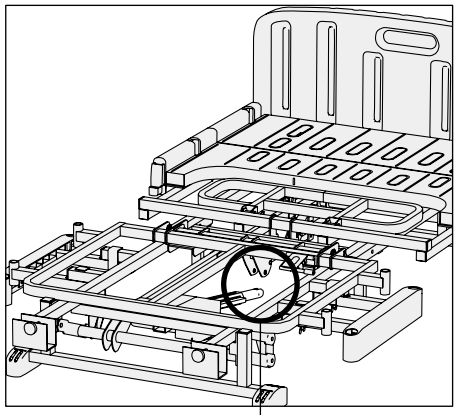
背上げフレームとフリーフレームをゆっくりと降ろしてください。
ヘッドボード、バックパネル、Cパネルひざ上げパネルを元のように取り付けてください。

背上げのもどし方

停電が復旧したら、以下の手順で背上げを元の状態にもどしてください。

※ラジオペンチ、プライヤーなどが必要です。工具は付属していません。

※この作業をする場合は、電源プラグを必ず抜いてください。

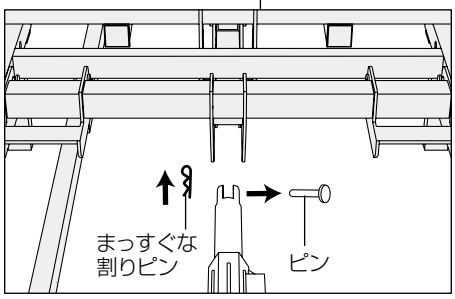


注意

●背上げを戻すとき、ベッドの高さをリモコンで一番下まで下げてください。下がりきっていない場合は接続するロッドが届きません。

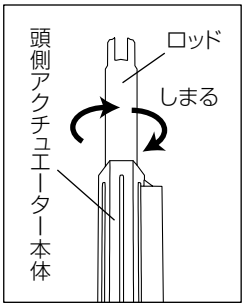
ご本人と寝具･マットレスをベッドから移動させてください。
ヘッドボード、バックパネル、Cパネル、ひざ上げパネルを取り外してください。

リモコンの「背･ひざ」の『さがる』ボタンを押し続けてロッドが一番伸びた状態にしてください。



頭側アクチュエーター（角度調整）の先端についているまっすぐな割りピンとピンを外してください。

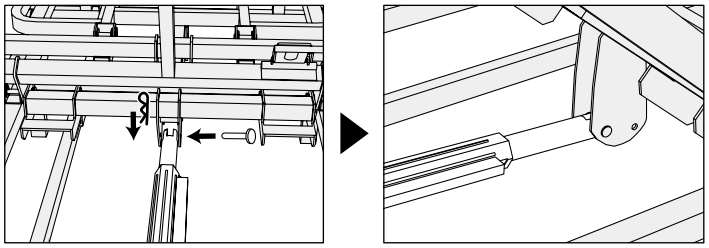
※この作業には、ラジオペンチ、プライヤーなどが必要です。



接続する前に頭側アクチュエーター（角度調整）のロッドを左図の矢印の方向にしめてください。
（逆ネジです）

⚠ 警告

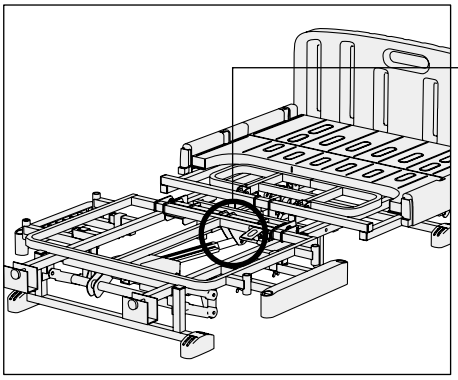
●きちんとしまっていることを確認してください。ゆるんだまま接続するとロッドが外れ、ケガや事故の原因となります。

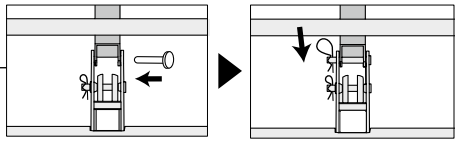


ピンとまっすぐな割りピンで、フリーフレームと頭側アクチュエーター（角度調整）を接続してください。

※組み立て後はベッド組み立て後の確認事項（P25）でご確認ください。

背上げのもどし方





フリーフレームとひざ上げリンクロッドを接続してください。

ヘッドボード、バックパネル、Cパネル、ひざ上げパネルを元のように取り付けてください。

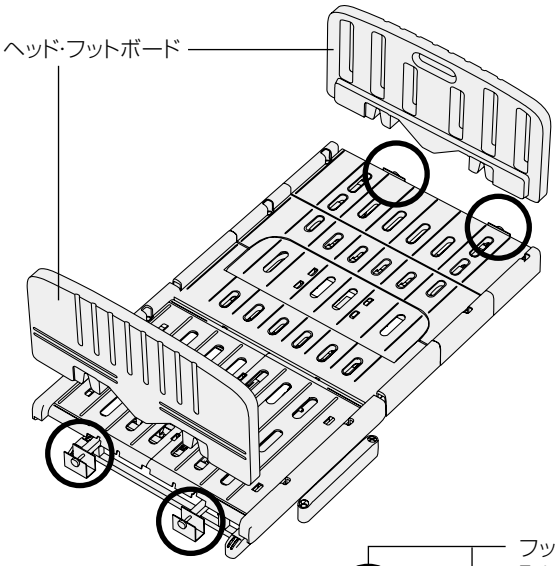
以上で接続は完了です。

※組み立て後はベッド組み立て後の確認事項（P25）でご確認ください。

組み立て後の移動

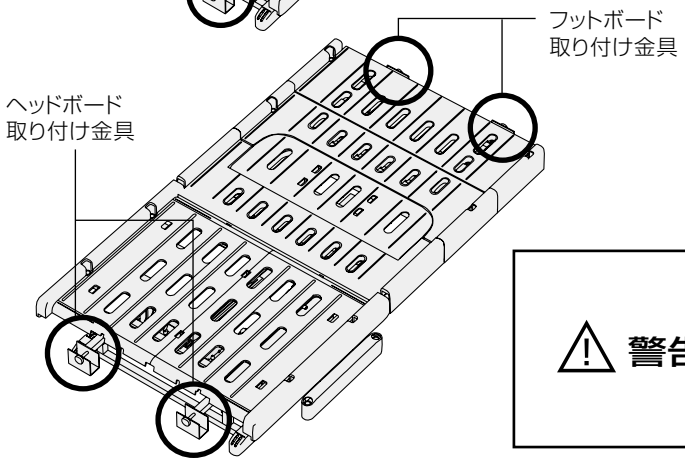
ベッドを組み立て後、移動させたい場合は以下の方法で移動させてください。

※この作業は必ず2名以上で行ってください。作業する場合は、電源プラグを必ず抜いてください。



移動させたい場所のスペースを確認してください。
(設置場所についてはP13を参照してください。)
電源プラグはコンセントから抜いてください。
電源コードやリモコンは、移動させる場合にキズがつかないよう注意してください。

ご本人と寝具･マットレスを、ベッドから移動させてください。
ベッド付属品、ヘッド･フットボードを外してください。



ヘッド･フットボード取り付け金具をそれぞれ両手で持ち、移動させてください。このとき、ベッドを引きずらないように注意してください。

⚠ 警告

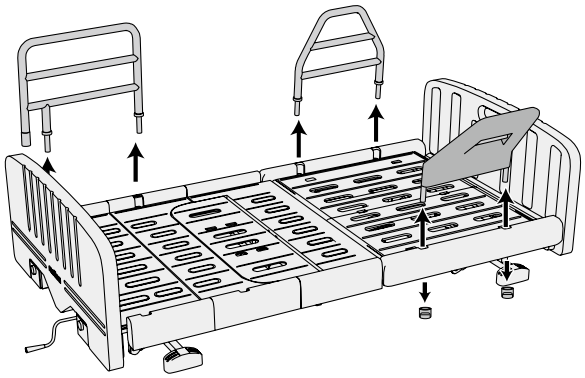
- ボード取り付け金具以外の部分は持たないでください。部品が外れてケガをする恐れがあります。
- 必ず持ち上げて移動してください。
  引きずるとフットベースが外れる場合があります。

分解方法

※この作業は販売店の方に依頼されることをお勧めいたします。
分解するときは、リモコンでベッドの高さを一番低い位置にし、電源プラグを
コンセントから抜いた状態で作業を行ってください。
部品の破損や部品が落下してケガをする恐れがあります。

※ラジオペンチ、プライヤーなどが必要です。工具は付属していません。
※キャスターを使用の場合、この時点では取り外さないでください。キャスターは最後に取り外します。（P41参照）
また、分解作業はキャスターをSTOP（固定）の状態にして行ってください。

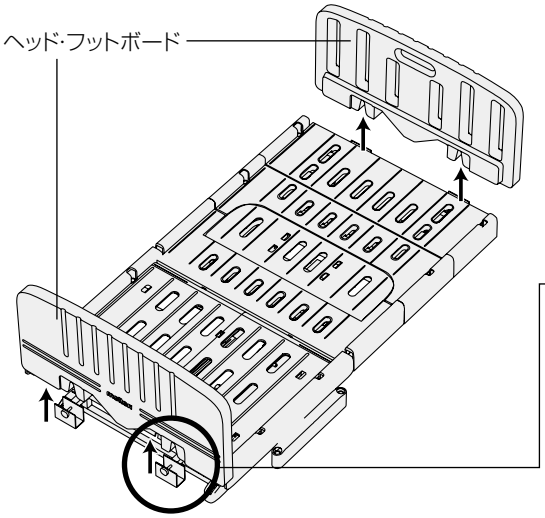
1 寝具、マットレス、サイドレールの取り外し



寝具類、マットレス、サイドレール、離床支援バーを取り除いてください。
サイドレール、離床支援バーは、固定しているネジ2ヶ所を外して取り除いてください。

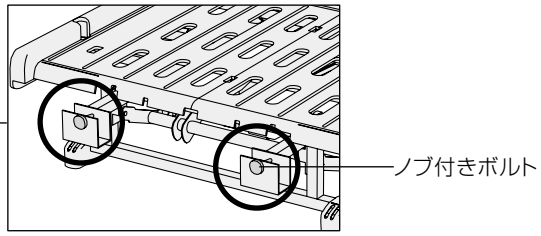
スライド式サイドレール受けの取り外しは、この時点で取り外すことができます。
ただし、パネルを取り外した後の方が作業を容易に行うことができます。（P36参照）

2 ボードの取り外し



●ヘッド･フットボードの取り外し

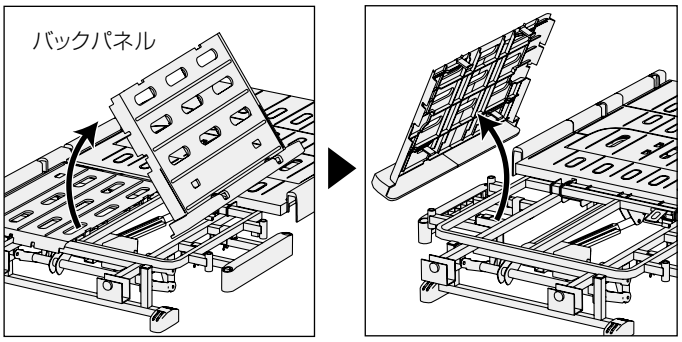
ノブ付きボルトをゆるめ、ボードを上に引き上げて外してください。



※ノブ付きボルトは完全に外さず、紛失防止のためフレームに取り付けたままにしてください。

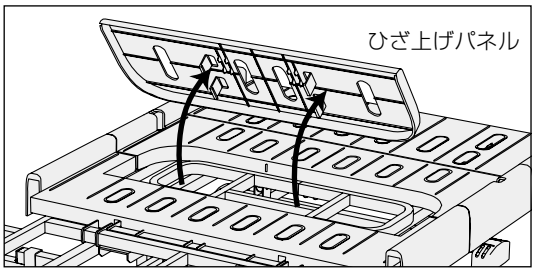
※分解時に抜くピンは銀色で、割りピンがななめになっています。
これ以外の黒いピンは外さないでください。

3 パネルの取り外し

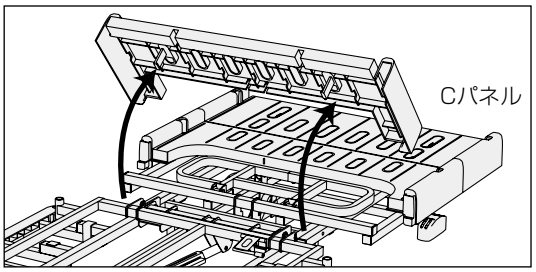


バックパネルを外します。
バックパネル2枚を外してください。

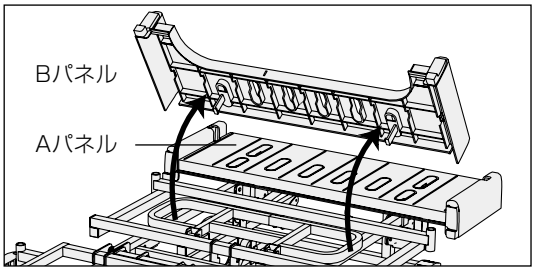
※内側を持ち上げながら外すと簡単に外れます。



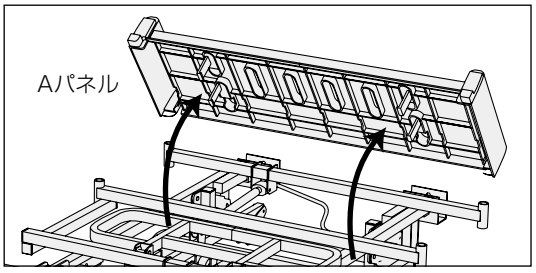
フット側のパネルを外します。
ひざ上げパネルを持ち上げ外してください。



CパネルとBパネルの連結部（両端）を外してから
Cパネルを持ち上げ、外してください。



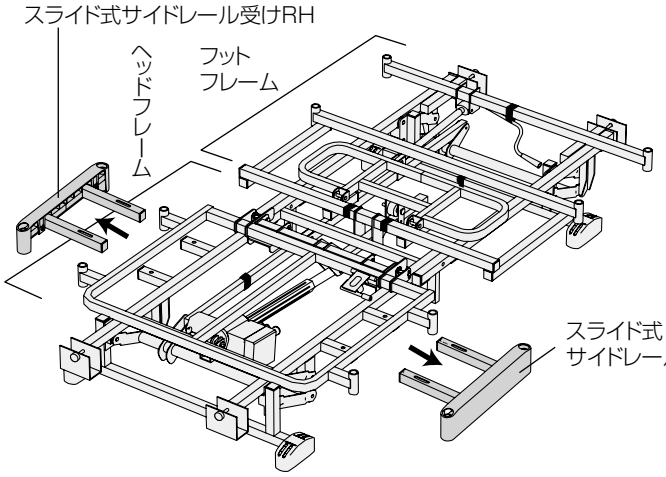
BパネルとAパネルの連結部（両端）を外してから
Bパネルを持ち上げ、外してください。



Aパネルを持ち上げ外してください。
どちらか片方を持ち上げてから外すと簡単です。

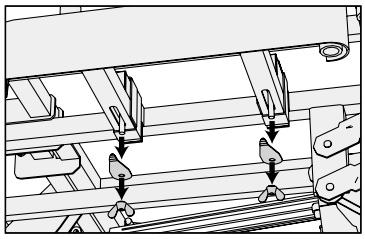
※分解時に抜くピンは銀色で、割りピンがななめになっています。
これ以外の黒いピンは外さないでください。

4 スライド式サイドレール受けの取り外し

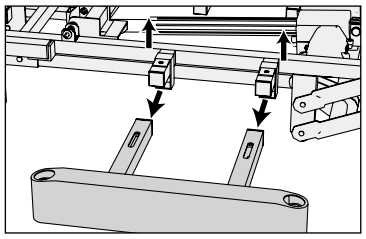


スライド式サイドレール受けを取り外します。

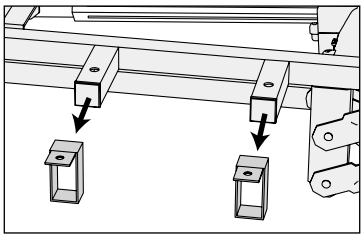
外したハンガーフック･L型金具･ストッパープレート･蝶ナットは紛失防止のため、スライド式サイドレール受けに取り付けてください。



蝶ナットをゆるめてストッパープレートを外します。

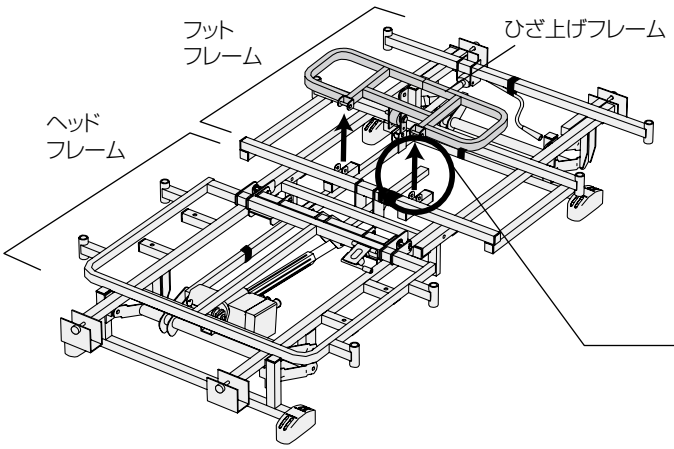


L型金具を引き抜き、スライド式サイドレール受けを外します。



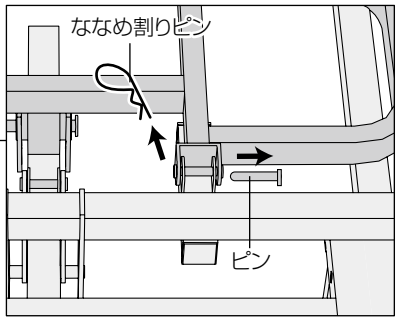
ハンガーフックをフレームから取り外します。

5 ひざ上げフレームの取り外し



ひざ上げフレームを取り外します。

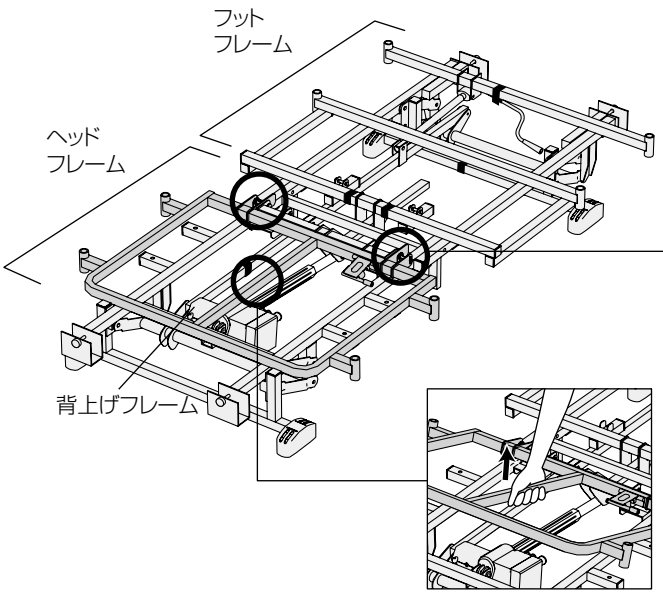
フットフレームとひざ上げフレームを接続しているピンとななめ割りピンを外し、ひざ上げフレームを外します。



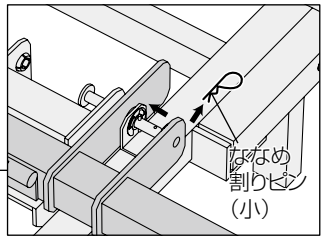
外したピンは紛失防止のため、
ひざ上げフレームに取り付けてください。

※分解時に抜くピンは銀色で、割りピンがななめになっています。
これ以外の黒いピンは外さないでください。

6 背上げフレームの取り外し



背上げフレームを取り外します。



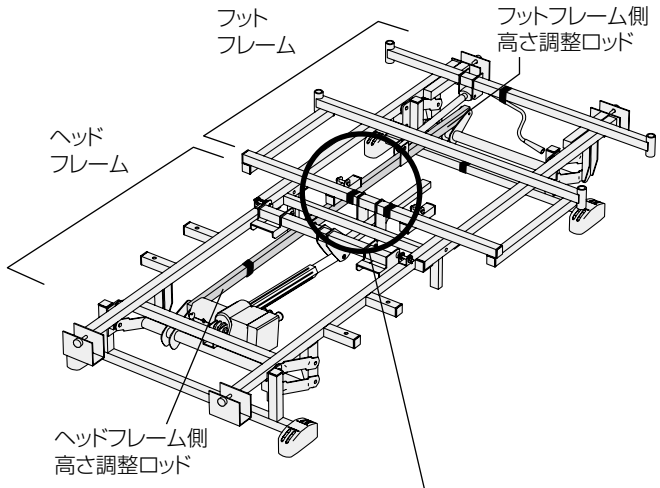
背上げフレームとフリーフレームを固定している部分のななめ割りピンを外し、ピンを1/3程抜いてください。

※ピンをすべて抜くとフレームが外れてしまうため、すべて抜けないようにストッパーがついています。

背上げフレームを持ち上げながら作業を行うとピンが抜けやすくなる場合があります。

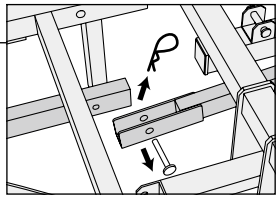
7 高さ調整ロッドおよび足元側アクチュエーター(高さ調整)の取り外し

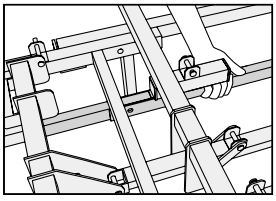
●高さ調整ロッドの取り外し(1モーター+α機能)



高さ調整ロッドを取り外します。

ベッドの高さが一番低くなっていることを確認してください。
ヘッドフレーム側とフットフレーム側の高さ調整ロッドを接続しているななめ割りピンとピンを外してください。
このとき、ロッドが床に接触し破損する恐れがありますので、ロッドを手で支えながらピンを抜いてください。
抜いたピンは紛失防止のため、フット側のロッドに取り付けてください。

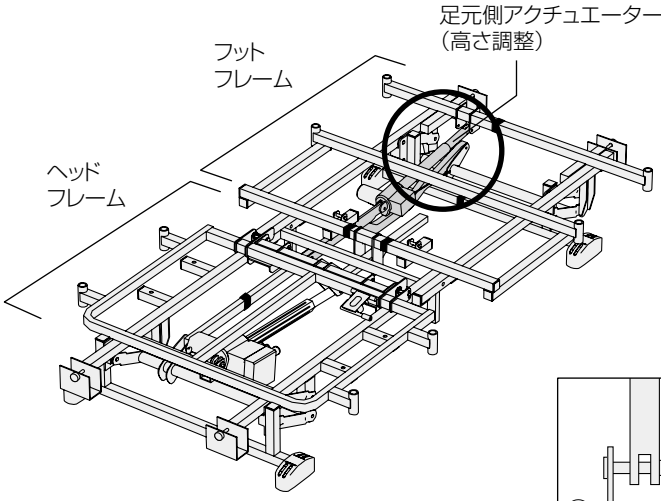




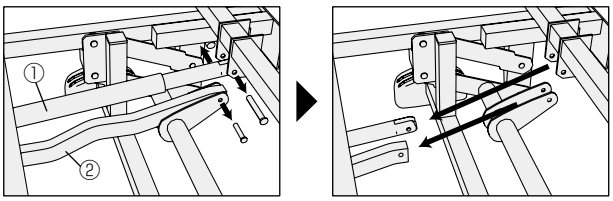
※ピンが外れにくい場合は、ロッドを手で少し持ち上げると外れやすくなります。

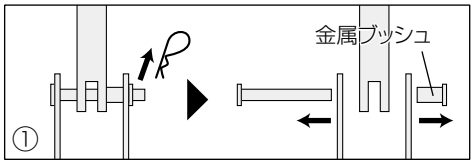
※分解時に抜くピンは銀色で、割りピンがななめになっています。
これ以外の黒いピンは外さないでください。

●足元側アクチュエーター（高さ調整）の取り外し（2モーター）

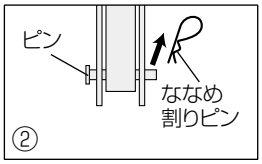


足元側アクチュエーター（高さ調整）を取り外します。
下図のように①足元側アクチュエーター（上段）、
②ロッド（下段）の順で取り外してください。



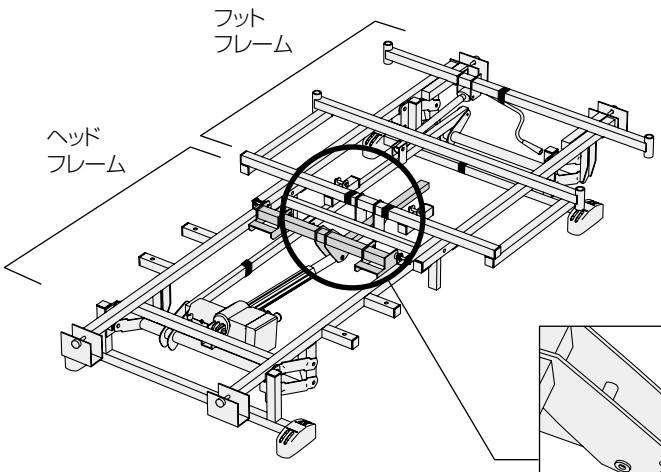


ななめ割りピンを外し金属ブッシュとピンを抜いてください。



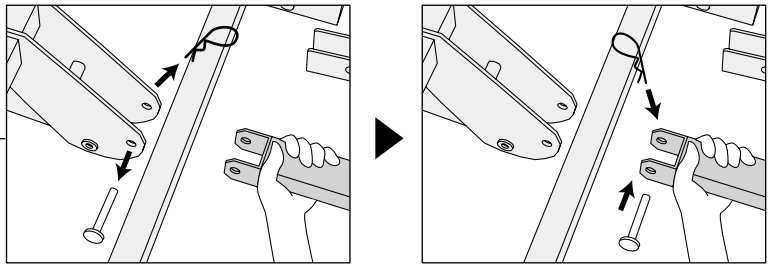
ななめ割りピンを外し、ピンを抜いてください。

8 ひざ上げリンクロッドの取り外し



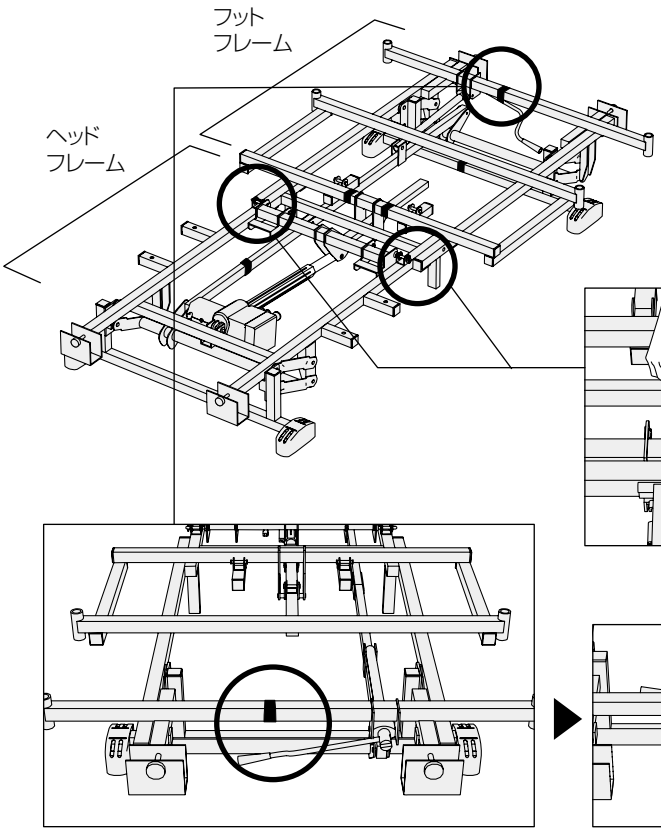
ひざ上げリンクロッドとフリーフレームを取り外します。
ひざ上げリンクロッドとフリーフレームを接続しているななめ割りピンとピンを外してください。
このとき、ロッドが床に接触し破損する恐れがありますので、ロッドを手で支えながらピンを抜いてください。

抜いたピンは紛失防止のため、ひざ上げリンクロッドの穴に取り付けてください。



※分解時に抜くピンは銀色で、割りピンがななめになっています。
これ以外の黒いピンは外さないでください。

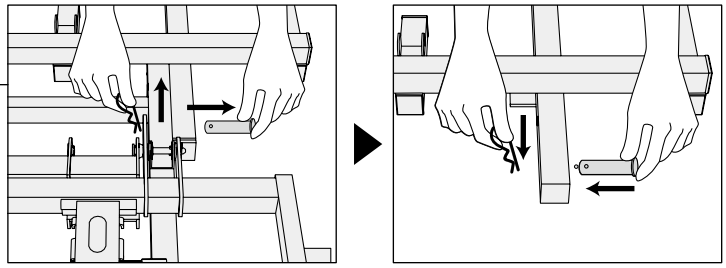
9 ヘッドフレームとフットフレームの取り外し

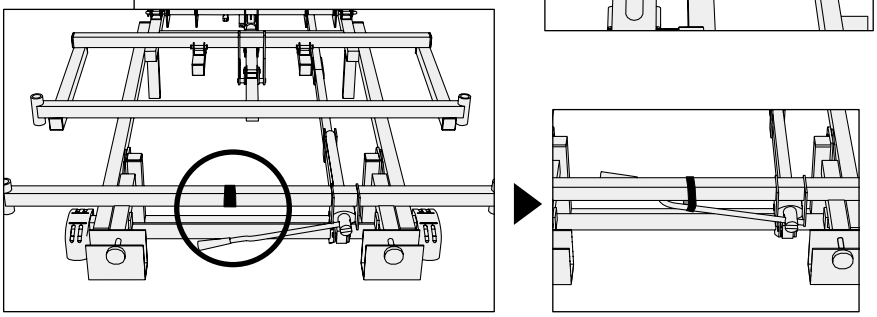


ヘッドフレームとフットフレームを取り外します。

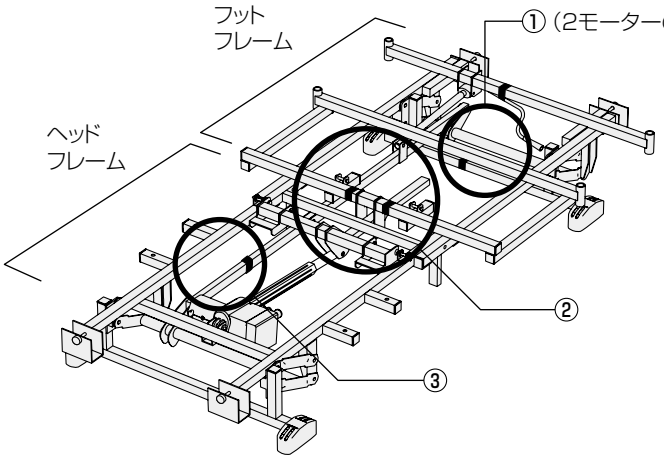
フレームを持ち上げながら、ヘッドフレームとフットフレームを連結しているピン2ヶ所を外してください。

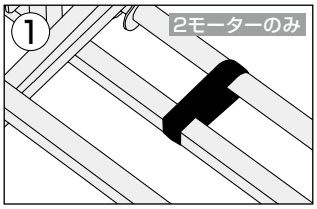
抜いたピンは紛失防止のため、フットフレームに取り付けてください。



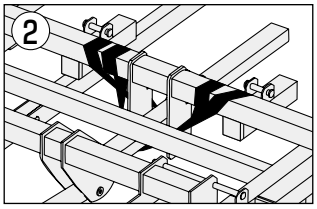


高さ調整ハンドルを折り曲げ、
フレームに巻きつけてある
フレーム固定バンドで
ハンドルを固定してください。

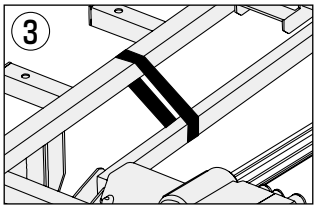




足フレームを固定バンドで
固定してください。

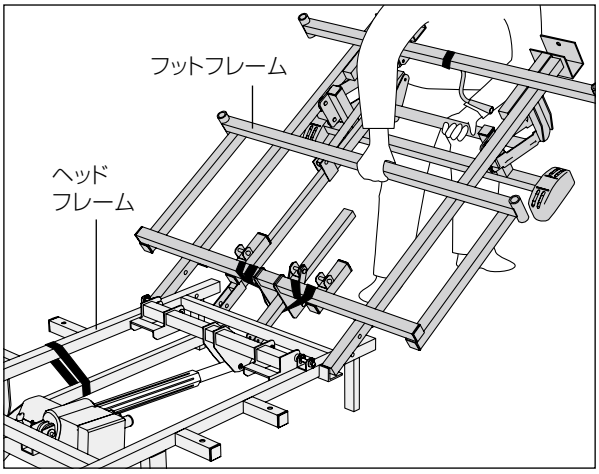


リンクロッドをフレームを
固定バンドで固定してくだ
さい。

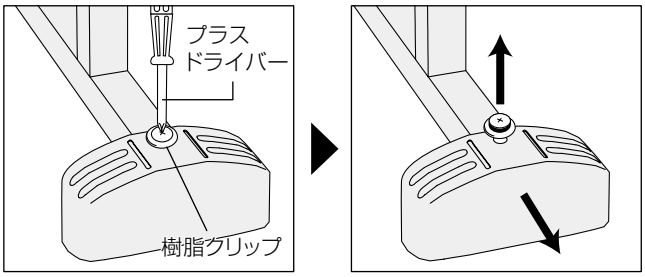


ヘッド側高さ調整ロッドと
ヘッドフレームを固定バン
ドで固定してください。

分解方法



フットフレームを持ち、上に引き上げ分解してください。
※イラストの手の位置をつかむと持ちやすいです。



フットベースを外します。
プラスドライバーで樹脂グリップを回します。
この時、外側が一緒に回らないよう注意してください。

樹脂ピンを取り外し、フットベースを取り外します。

※この作業には、ラジオペンチ、プライヤーなどが必要です。

キャスター使用の場合は、この時点で取り外してください。
キャスターの取り外し方法はキャスターセット取扱説明書を参照してください。

⚠ 注意

●樹脂パネルをフレームに取り付けたまま、運搬･運送をしないでください。
樹脂パネルの変形･破損の原因になります。

お手入れ方法

⚠ 警告

●誤操作によるケガを防止するため、必ず電源プラグを抜いてお手入れして下さい。
●フレームに直接水をかけないでください。ショートして感電する恐れがあります。

清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。
その後残った洗剤分を水に浸して、よく絞った布で拭き取ってください。
最後に乾いた布で水滴･湿気をしっかり拭き取ってください。

※有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）やスプレータイプの殺虫剤などをベッドに直接噴射しないでください。

フレームの可動部から異音が出る場合は、グリスを塗ってください。

保管方法

●長期にわたりベッドをご使用にならないときは、下記の点にご注意ください。

1.組み上がった状態でベッドを保管する場合

●ベッドは壁に立て掛けたりせず、床に水平のまま保管してください。

●ベッドの高さを最低位置まで下げ、背上げをフラットな状態にしてください。

●ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。

●高温、多湿、ほこりの多い場所を避けてください。

●電源プラグをコンセントから抜いて、はさんだり絡んだりしない場所に束ねておいてください。

●取扱説明書を紛失しないよう、いつでも見られる場所に保管してください。

2.分解して保管する場合

※ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。

●P35～P41の分解の手順に従って分解してください。

※使用を再開する場合は、P25の手順に従って点検を行ってください。

このようなときには

症　状		確　認	処　置
背上げが上がらなくなった 下がらなくなった		コンセントに電気はきていますか?	コンセントに他の電気機器をつけて確認してください。
		電源プラグがアダプターや電源タップ、コンセントに入っていますか?	電源プラグをコンセントに入れてください。
		リモコンのコネクタが外れていませんか?	リモコンのコネクタを取り付けてください。(P18、P19、P20参照)
		フレーム固定バンドがついていませんか?	フレーム固定バンドを外してください。(P15参照)
高さ調整ができない		ハンドルをしっかり奥まで差し込んでいますか?	ハンドルをしっかり奥まで差し込んでください。(P21参照)
		高さ調整ロッドのピンが取り付けてありますか?	高さ調整ロッドの接続部にピンを取り付けてください。(P16参照)
		フレーム固定バンドがついていませんか?	フレーム固定バンドを外してください。(P15参照)
	2モーターのみ	リモコンのコネクタが外れていませんか?	リモコンコネクタの向きを合わせて差し込んでください。(P19、P20参照)
	2モーターのみ	リモコンのコネクタの向きが間違っていませんか?	

このようなときには

症　状	確　認	処　置
ひざが上がらない	ひざ上げリンクロッドのピンが取り付けてありますか?	ひざ上げリンクロッドのピンを取り付けてください。(P15参照)
	フレーム固定バンドがついていませんか?	フレーム固定バンドを外してください。(P15参照)
離床支援バーA･Bとサイドレールの取り付けができない	離床支援バーA･Bは頭側、サイドレールBは足元側の取り付け穴に正しく取り付けられていますか?	離床支援バーA･Bは頭側、サイドレールBは足元側の取り付け穴に正しく取り付けてください。(P29参照)
	離床支援バーA･Bを取り付ける場合、スライド式サイドレール受けを取り外していますか?	離床支援バーA･Bを取り付ける場合、スライド式サイドレール受けを取り外してください。(P37参照)
ウイングガードとサイドレールAの取り付けができない	ウイングガードとサイドレールAはスライド式サイドレール受けに正しく取り付けられていますか?	ウイングガードとサイドレールAはスライド式サイドレール受けに正しく取り付けてください。(P30参照)
ウイングガード、サイドレールAがグラグラして不安定	スライド式サイドレール受けのハンガーフック･L字金具･ストッパープレート･蝶ナットがゆるんでませんか?	スライド式サイドレール受けのハンガーフック･L字金具･ストッパープレート･蝶ナットをしめ直してください。(P21参照)
	スライド式サイドレール受けはいっぱいまで引き出されていますか?	スライド式サイドレール受けをいっぱいまで引き出してください。(P21参照)
	固定ネジがゆるんでいませんか? ※ウイングガードのみ	固定ネジをしめてください。(P30参照) ※ウイングガードのみ

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の症状の場合はお求めの販売店または（株）モルテン 健康用品事業本部までご相談ください。

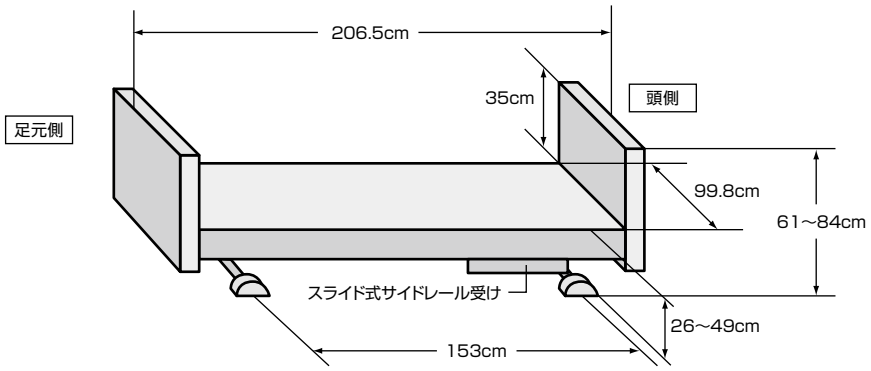
【お客様窓口】株式会社 モルテン 健康用品事業本部
TEL(082)842-9975

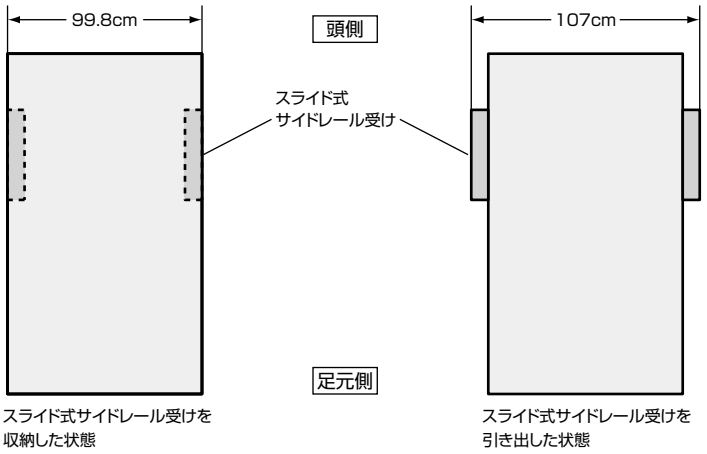
仕 様

トゥルース-Ⅱ

品番　MTUT91（1モーター+α機能）　MTUT91M2（2モーター）

●外サイズ：幅99.8cm×高さ61cm～84cm×長さ206.5cm
●ボトムサイズ：幅91cm×長さ191cm
●高さ調整：床面からボトムまで26cm～49cm(調整量23cm)





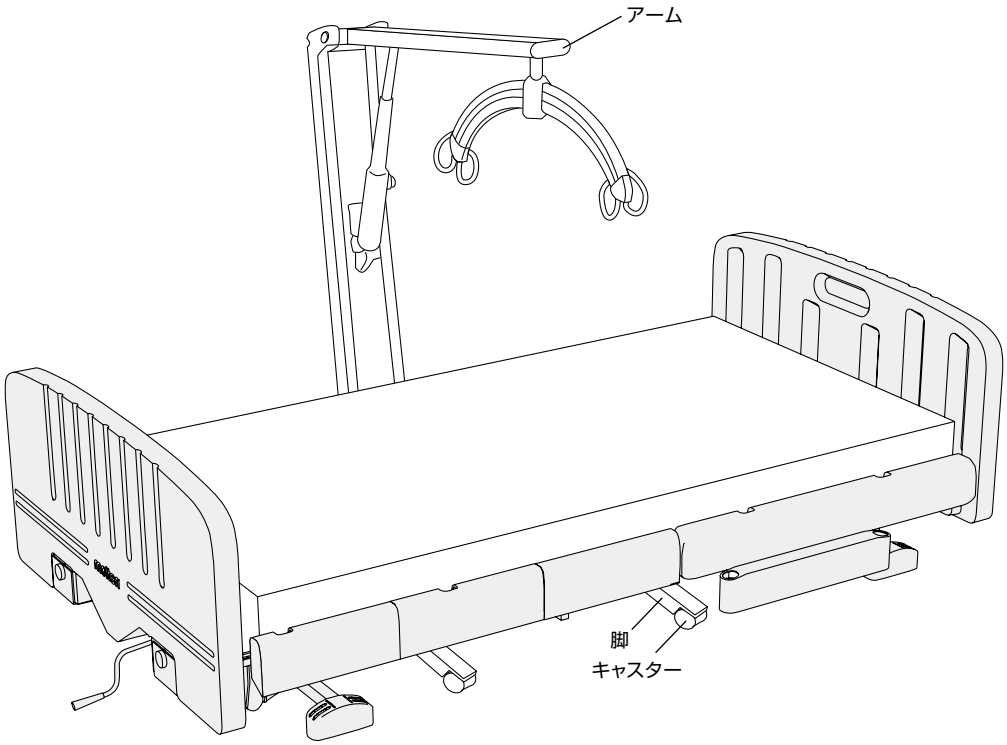
●対応するマットレス厚さ：14cm以下
※最大マットレス厚さを超える厚さのマットレスを使用した場合、ベッドから転落する恐れがあります。
適合するマットレスについては、P27、P28「マットレスの適合」をご参照ください。

●使用者最大体重：145kg　●安全使用荷重：1700N　●重量：68kg、72kg(2モーター)
●最大角度：背上げ部=約70度、ひざ上げ部=約22度(背上げ約40度)
●最大背上げ時間：約25秒
●最大高さ時間：約25秒(2モーター)
●背上げ連続操作可能時間：約3分(連続でリモコン操作を行う場合、20分の休止時間が必要です。)
●高さ連続操作可能時間：約3分(連続でリモコン操作を行う場合、20分の休止時間が必要です。)(2モーター)
●アクチュエーター：AC100V 50/60Hz 50W DC
●素　材：フレーム=スチール、パネル＝ポリプロピレン、樹脂ボード＝ポリプロピレン

■手動式高さ調整機能+AS（アクティブセーフティー）モード／電動式ひざ上げ&背上げ・ひざ下げ連動機能
■電動式高さ調整機能（2モーター）
■1年保証

●介護リフト・サイドテーブル使用時の注意点

床走行式電動介護リフトが使用できます。
※床走行式電動介護リフトに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。

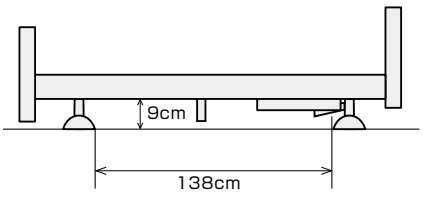


⚠ 警告

- ●ベッドを上げるとき、アームを下げるときは、ベッドとフレームの間にはさまれないように注意してください。はさまれるとケガをする恐れがあります。
- ●ベッドの高さを下げるときは、脚部やキャスターなどにはさまれないように注意してください。はさまれるとケガや破損の恐れがあります。
- ●脚部がベッドの配線コードに引っ掛からないように注意してください。

⚠ 注意

- ●ベッド（トゥルース-Ⅱ）を最も低い設定にした場合、ベッドと床面とのすき間が9cmとなります。リフトやサイドテーブルの脚部が幅138cm・高さ9cm以上のものは使用できないので注意してください。
- ●また、右図のようにセンターにフレームがありますので、使用される際はご注意ください。介護リフトの機種によっては、使用できないものもあります。



開発・製造元

株式会社 モルテン
健康用品事業本部
www.molten.co.jp/health
東京　札幌　仙台　名古屋　大阪　広島　福岡
製品他、各種お問い合せは
〒739-1794　広島市安佐北区口田南2-18-12
TEL.082-842-9975
FAX0120-769-123
E-mail:health@molten.co.jp

※ 健康用品事業本部にて
取得しています。

2015.10